

	Message from the President	U3
Overview	Our Goals and Philosophy / Emblem / Brief History of UoM	0.3
Overview -	Organization	04
	Organization (1) III (N)	05
	Educational Strategy of the University of Miyazaki	06
	Research Strategies of the University of Miyazaki	07
International Cooperation >	Faculty of Medicine / Faculty of Engineering	08
	Faculty of Agriculture / Center for International Relations	09
Faculties and Graduate Schools	Faculty of Education / Graduate School of Education	10
	Faculty of Medicine / Graduate School of Nursing Science ······	
	Faculty of Engineering / Graduate School of Engineering ······	12
	Faculty of Agriculture / Graduate School of Agriculture	····· 13
	Faculty of Regional Innovation	····· 14
	Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine	····· 15
	Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering	
Centers and Institutes	University of Miyazaki Hospital	16
	University Library	
	Veterinary Teaching Hospital	
	Frontier Science Research Center	
	Center for Collaborative Research and Community Cooperation	
	Center for Animal Disease Control	
	Center for Education and Student Support	
	Language Education Center	
	Health Care and Safety Center	
	Office of Support for Students with Disabilities	
	Center for the Promotion of Institutional Research	
	Organization of Effective ICT Planning and Management / Information Technology Center	
International Activities	Center for International Relations / Overseas Office ·····	
	Islamic Center / International Dormitories / International Alumni Association	
	Guide for International Students at UoM / Student Categories and Admissions /	20-23
	Study and Funding / Short-term Student Exchange Program /	
	Campus Life – Support for International Students	
Message for Prospective Students ▶	Message for Prospective Students	24-25
Data▶	Number of Staff and Students	26
	Number of UoM Exchange Students / International Students	27
	Academic Exchange Agreement / Student Exchange Memorandum	28-29
	Exchange of Researchers	30
	University Budget	31
Campus Mans & Access	Campus Maps ······	33
Campus Maps & Access	Getting to Miyazaki·····	32
概要▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革	····· 03 ···· 04 ···· 05
概要▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····· 03 ···· 04 ···· 05 ···· 06
	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略	03 04 05 06
	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略	03 04 05 06
	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部	03 04 05 06 07
国際協力▶	学長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 06 07 08 09
国際協力▶	学長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 06 07 08 09
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科	03 04 05 06 07 08 09 10
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 エ学部/工学研究科	03 04 05 06 07 08 09 10
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/工学研究科	03 04 05 06 07 08 09 10 11
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/工学研究科 エ学部/工学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 と受部が展済が	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/工学研究科 医学部/工学研究科 悪学部/黒学研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部所属病院	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/県学研究科 地域資源側成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部関病病院 附属図書館	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 豊学部/工学研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 医学部/看護学研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/看護学研究科 医学部/看護学研究科 世域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産学・地域連携センター	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 エ学部/工学研究科 世域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 プロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 関際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 理学部/工学研究科 農学部/世域資源創成学部 医学部/関連規模を対象を研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部 医学部的属病院 附属図書館 農学部が展示が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が高速が	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/工学研究科 医学部/工学研究科 医学部/工学研究科 医学部/農学研究科 世球資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 若美教育・学生支援センター 医学教育・学生支援センター 安全衛生保健センター	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 エ学部/工学研究科 農学部/県学研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター コ語学教育センター 安全衛生保健センター 陸がい学生支援室	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 世域資源創成学部 医学部が展育の成本 地域資源創成学部 医学部的関病院 附属図書館 農学部院属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 調学教育センター 電学教育センター 安全衛生保健センター 摩がい学生支援室 IR 推進センター	03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/看護学研究科 医学部/看護学研究科 世域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 養美動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 調学教育センター 安全衛生保健センター 電学・地域連携センター 安全衛生保健センター 同がい学生支援室 に、推進センター 情報化統括機構 情報基盤センター	03 04 05 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/有護学研究科 医学部/有護学研究科 理学部/工学研究科 地域資源劇成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター コ学教育センター 安全衛生保健センター 障がい学生支援室 IR 推進センター 情報化統括機構情報基盤センター 国際連携センター/海外オフィス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 06 07 08 09 10 12 13 14 15 16
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 大学部 関際連携センター 教育学研究科 医学部/看護学研究科 医学部/石護学研究科 世域資源創成学部 医学部所の大学の研究科 世域資源創成学部 医学部附属動物病院 プロシティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産学・地域連携センター 産学・地域連携センター 精学などのよりでは、アイア・アインター 教育・学生支援をといる。 語学教育センター 管がい学生支援を IR 推進センター 情報化統括機構 情報基盤センター 国際連携センター/海外オフィス・イスラーム文化研究交流棟/留学生用宿舎/留学生同窓会	03 04 05 06 07 10 11 12 13 14 15 16
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/有護学研究科 医学部/有護学研究科 理学部/工学研究科 地域資源劇成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター コ学教育センター 安全衛生保健センター 障がい学生支援室 IR 推進センター 情報化統括機構情報基盤センター 国際連携センター/海外オフィス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 06 07 10 11 12 13 14 15 16
国際協力▶ 学部・大学院▶ 付属施設等▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 医学部/真神研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 語学教育センター 安全衛生保健センター 障がい学生支援室 R 推進センター 障がい学生支援室 R 推進センター 情報化統括機構 情報基盤センター 国際連携センター/海オフィス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶  国際交流 ▶  留学をお考えの皆様へ ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/工学研究科 医学部が異等が、農学研究科 世域資源創成学部 医学部の展示科 地域資源創成学部 医学部的属病院 附属図書館 農学部所属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 建業動物防疫リサーチセンター 国学教育センター 安全衛生保健センター 国学が育生なター 国際が、学生支援室 に 推進センター 国際が、学生支援室 に 推進センター 国際が、学生支援室 に 推進センター 国際が、特殊を関係と対象を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	03 04 05 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶  国際交流 ▶  留学をお考えの皆様へ ▶	学長技拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/治革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶  国際交流 ▶  留学をお考えの皆様へ ▶	学長技拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/治革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 04 05 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶  国際交流 ▶  留学をお考えの皆様へ ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/工学研究科 医学部が異等が、農学研究科 世域資源創成学部 医学部の展示科 地域資源創成学部 医学部的属病院 附属図書館 農学部所属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 建業動物防疫リサーチセンター 国学教育センター 安全衛生保健センター 国学が育生なター 国際が、学生支援室 に 推進センター 国際が、学生支援室 に 推進センター 国際が、学生支援室 に 推進センター 国際が、特殊を関係と対象を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	03 04 05 06 07 08 09 11 12 13 14 15 16 17
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶  国際交流 ▶  留学をお考えの皆様へ ▶	学長技拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育研究科 正学部/工学研究科 工学部/工学研究科 地域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学斯图属病院 附属国書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 語学教育センター 電が、学生支援センター に、指進センター に、指進センター に、推進センター に、対応・アーム文化研究交流棟/留学生用宿舎/留学生同窓会 に、対応・アーム文化研究交流棟/留学生用宿舎/留学生同窓会 に、対応・アーム文化研究交流棟/留学生用宿舎/留学生同窓会 に、対応・アームでは研究交流棟/留学生相互交流/キャンバスライフ〜留学生支援〜 に、対応・アームでは、のに、など、中で、アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・	03 04 05 06 07 08 09 11 12 13 14 15 16 17
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶  国際交流 ▶  留学をお考えの皆様へ ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/治革 機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部が国際連携センター 教育学研究科 医学部/看護学研究科 医学部/君学研究科 医学部/黒学研究科 世域資源創成学部 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 建築動物防疫リサーチセンター 独育・学生支援を に 推進センター 情報化統括機構 情報基盤センター 国際連携センター/海外オフィス・イスラーム文化研究交流棟/留学生用宿舎/留学生同窓会 宮崎大学への留学案内/学生の区分と入学手続き/日本留学の種類/ 短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンバスライフ〜留学生支援〜 短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンバスライフ〜留学生支援〜 短学をお考えの皆様へ(留学生メッセージ) 教職員教/学生数・個学生数・留学生数 協定校への派遣学生数・留学生数 研究者交流	03 04 05 06 07 10 11 12 13 14 15 16 17
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 日際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶ 資料 ▶	学長挨拶 大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・ 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 展学部/周蒙学研究科 展学部/農学研究科 農学部/農学研究科 と学部/展学研究科 と学部/展学研究科 と学部的属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学実験総合センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 建業動物防疫リサーチセンター に変生、学生支援センター に関連携センター に関連技どクター を全衛生保健センター に関連技どのター を全衛生保健センター に関連技どのター を全衛生保健センター に関連技どのター を全衛生保健センター に対して、 に対	03 04 05 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 17



President Tsuyomu Ikenoue 宮崎大学長 池 ノ 上 克

# Message from the President "Look at the World, Start with the Community"

The University of Miyazaki took an important step forward in April 2016 by opening our new Faculty of Regional Innovation. This addition brought our total number of faculties to five, along with our faculties of Education, Medicine, Engineering, and Agriculture. The new faculty will span a range of different disciplines, including the humanities and social sciences as well as agriculture and engineering. In bringing together faculty members specializing in both the humanities and sciences, the Faculty of Regional Innovation will aim to provide education of practical value that also optimally utilizes the resources of our region.

A task for us as we move forward will be to specialize university functions while also enhancing individualization. Simply put, we need to bring out the distinctive qualities of the University of Miyazaki—as encapsulated in our slogan: Look at the World, Start with the Community. Examples of how the University of Miyazaki is enhancing its specialization and individuality can be seen in our Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, our Graduate School of Education, and our Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine. In those and other cases we are bringing together different academic disciplines to forge innovative new research and educational initiatives, while also building the networks needed to meet the needs of local communities. We continue to demonstrate our unique qualities as a university by advancing research in our core disciplines, which include life sciences, environmental science, food science, and energy science.

The University of Miyazaki has been earning praise from outside observers for our approach to fostering leading young researchers. In this area, we have introduced the Organization for Promotion of Tenure Track (OPTT) system that offers young researchers mentoring by three "troika supporters," with an eye to developing researchers into tenured professors at UoM. We will also be stepping up our efforts to provide greater career opportunities for women across the university, including both students and faculty members, through the creation of a new human resources organization dedicated to fostering activities and career opportunities for women on campus.

These are just some examples of how the role of our university encompasses not only education and research but also contributions to society.

One organization that brings these three areas together is our "Center of Community" (COC) organization, which has been achieving steady results through its cooperation with the different faculties. And we have launched "COC Plus," which aims to expand the organization's scope through collaboration with other universities and groups located in Miyazaki Prefecture. In addition, Miyazaki University Hospital has been contributing to health care in our area and to practical education in the area of regional general health care.

At the University of Miyazaki, we will continue to strive to be a beacon through our role as a university that steadily deepens its roots in local communities, while fostering individuals who are capable of thinking and acting globally over the course of their careers.

## 学長挨拶 「世界を視野に 地域から始めよう」

宮崎大学は平成28年4月から教育学部、医学部、工学部、農学部、および地域資源創成学部の5学部で新たに出発しました。従来の4学部に加えて地域資源創成学部が加わりました。新学部は人文・社会科学と農学・工学分野を融合した新しい学問分野です。文系・理系の指導教員を配置して地域の資源を捉える能力と社会での実践能力を備えるための教育を行います。大学は今、機能別分化と個性化が求められています。即ち宮崎大学らしさが求められています。「世界を視野に、地域から始めよう」はまさにこのことを表しています。

宮崎大学の機能別分化と個性化の特色は農学工学総合研究科博士後期課程、教職大学院、医学獣医学総合研究科などの設置にも表れています。異なる学問分野が融合した独特の研究と教育そして地域のニーズとの連携が築かれています。生命科学、環境科学、食の科学、エネルギー科学など本学の特色を示す研究が進み、宮崎大学らしさが発揮されつつあります。

宮崎大学型若手研究リーダー育成モデルは高い外部評価を受けながら進行しています。トロイカ方式の独特の指導体制をしき、優れた成果を上げた研究者はテニュア教員への採用につながる制度です。

本学では女性活躍・人財育成に努めており、学生や職員を含む本学機能の全域にわたり女性の活躍が一層推進するように期待しています。

大学の果たすべき役割は教育、研究、社会貢献であることは明らかです。

本学のCOC (Center of Community) の事業は、各学部が協力して継続的な成果を上げており、新たにCOC プラス事業にも採択されました。県内の大学等とも連携して更に拡充していきます。医学部附属病院でも地域総合医療の実践的な教育と地域の医療貢献が進行中です。

宮崎大学は地域社会に基盤をおき、地球規模で自らを考えてグローバルに動くことのできる人材を育成して社会に輩出し、 輝き続ける大学でありたいと日々取り組んでいます。

## Our Goals and Philosophy 大学の理念・目的(基本的な目標)

As we explore the profound truths of nature, inheriting and advancing science, culture, and craft as the fruit of human wisdom, our quest at UoM is to cultivate talented youth who will deliver answers to society's needs and our ever-changing times. It is our mission, as well, to enhance the culture and intellectual life of our region and the welfare of its citizens, in particular by creating interdisciplinary programs in the life sciences that will serve the welfare and prosperity of all humanity, fostering science to preserve the natural environment that is the origin of all life.

人類の英知の結晶としての学術・文化・技術に関する知的遺産の継承と発展、深奥な学理の探究を目指します。また、変動する時代及び社会の多様な要請に応え得る人材の育成を使命とします。更に、地域社会の学術・文化の発展と住民の福利に貢献します。特に、人類の福祉と繁栄に資する学際的な生命科学を創造するとともに、生命を育んできた地球環境の保全のための科学を志向します。

#### Emblem

#### シンボルマークについて



UoM's emblem is an artistic interpretation of the Chinese character 宮 (miya) from 宮崎 (Miyazaki). The two circles within the green field of the emblem remind students and faculty members of the merger between Miyazaki University and Miyazaki Medical College.

Together, the three white circles symbolize that the institution will grow year after year. The emblem's shape evokes the Earth, suggesting a youthful energy poised to soar upward andoutward into the world. The fields of green and blue represent the natural beauty of Miyazaki,its abundant trees, clear sky, and blue ocean.

宮崎大学の頭文字「宮」をモチーフとして図案化し、さらにそれを擬人化したシンボルマークです。白い丸は、だんだん拡大される宮崎大学のイメージをあらわし、緑色の中の二つの丸は、統合した宮崎大学と宮崎医科大学を象徴するものとしてデザインしました。さらに、図形は、躍動する若人の姿と全体の円を地球としてとらえたグローバルにはばたく姿も表現しています。

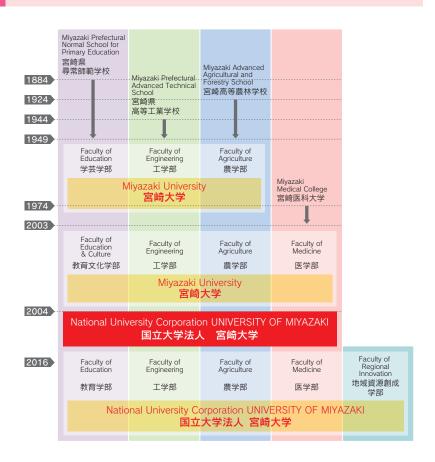
また、緑(グリーン)と青(ブルー)の2色は、自然豊かな宮崎の木々の緑と澄んだ空と海の青をイメージし、宮崎という地域にある本学のスクールカラーにふさわしい色として採用しました。

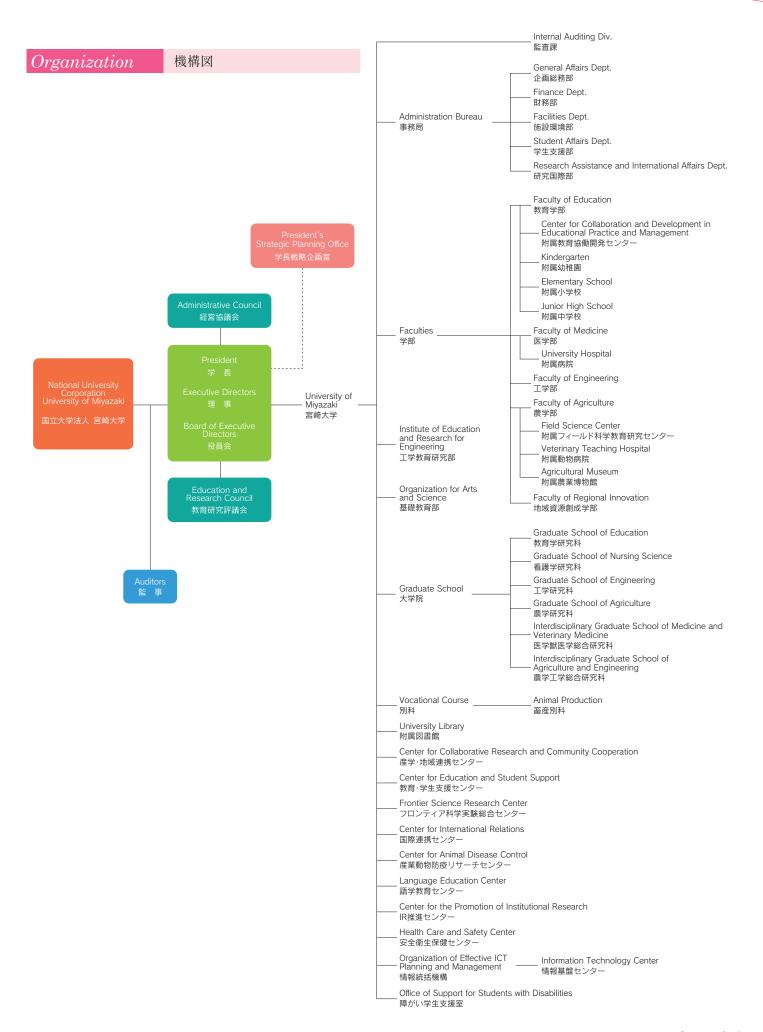
#### Emblem

Miyazaki University was founded in 1949 through the merger of Miyazaki Advanced Agricultural and Forestry School, Miyazaki Prefectural Normal School for Primary Education, and the Miyazaki Prefectural Advanced Technical School. In October 2003, following the merger of Miyazaki University with Miyazaki Medical College (founded in 1974), the University of Miyazaki (UoM) was formed. In April 2004, UoM gained National University Corporation status. Currently UoM has five faculties: Education, Medicine, Engineering, Agriculture, and Regional Innovation.

宮崎大学は宮崎高等農林学校、宮崎県尋常師範学校、宮崎県高等工業学校から1949年に設立されました。一方、宮崎医科大学は1974年に設立されました。2003年10月には宮崎大学と宮崎医科大学が統合し、教育文化学部、医学部、工学部、農学部の4つの学部からなる新宮崎大学を創設しました。2004年4月には国立大学法人宮崎大学になり、さらに2016年には教育文化学部が教育学部となり、地域資源創成学部が新たに設置されました。

#### 沿革





## Educational Strategy of the University of Miyazaki - 宮崎大学の教育戦略-

Educational Policy of the University of Miyazaki 宮崎大学の教育方針

#### Educational Ideals 教育理念

Education of Humanity

The University of Miyazaki (UoM) nurtures high ethical standards and a strong sense of responsibility, helps students acquire a broad and extensive education and comprehensive skills of judgment, while also fostering a rich humanity.

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深 教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を

UoM helps students become acquainted with sciences for life and environmental conservation, and nurtures habits for on-site learning through extensive contact with nature and society.

生命や環境保全の科学に親しむとともに、広 く自然や社会に触れ、現場から学ぶ態度を育成

UoM fosters problem-solving ability, which can actively contribute to the growth of society in response to a wide variety of societal demands.

社会の多様な要請に対応して、社会の発展に積 極的に貢献できる課題解決能力を育成する。

Education of Sociality and Internationality 社会性・国際性の教育

UoM fosters the ability to think flexibly and logically, and to write and report in Japanese, in addition to communication skills in foreign languages.

柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本語による記述・発表の能力や外国語によるコミ ーション能力を育成する。

UoM helps students acquire fundamental knowledge in their area of specialty and nurtures their ability to put it to practical use, and at the same time fosters students' deep interest in their area of specialty and develops their ability to pursue and solve issues and learn spontaneously.

それぞれの専門分野に関する基礎的知識を修 得し、それらを応用できる能力を育成するととも に、専門分野への深い興味を育み、課題探求およ び解決能力、自発的に学習する能力を育成する。

UoM offers specialized education, which leads to the acquisition of new knowledge and develops comprehensive judgment.

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、 総合的判断力を育成する。

### Admissions Policy (student selection and acceptance) アドミッション・ボリシー(入学者受入・選抜の方針)

In accordance with the admissions policy (student selection and acceptance) of the University of Miyazaki, we actively welcome students from within and outside Japan who possess the will and ambition

宮崎大学では、求める学生像に示す意欲と能力を持った 人を国内外から積極的に受け入れます。

#### •We seek students with the qualities listed below 求める学生像

- 1. Students who are a good match for the educational philosophy of UoM, who have a clear sense of purpose, and who think and act independently in line with a strong desire to learn.
- 本学の教育理念に共感し、明確な目的意識を持ち自ら考え行動 できる学習意欲の高い人
- 2. Students who possess sufficient knowledge and skills to cope with studying at UoM.
- 本学の学修に充分対応できる基礎学力や基礎技能を有する人 専門知識をもって地域や国際社会で活躍したいと考えている人
- 3. Students with specialist knowledge who wish to be active in the region and in the global community.
- 入学者選抜の基本方針 ●Basic policy for the selection of new students 1. We use diverse entrance examination methods to choose students with the multifaceted and comprehensive
  - 求める学生像に沿って、多様な入試方法により多面的・総合的 に選抜する。

qualities we desire in our student body. 2. To make a fair selection, we use objective and transparent criteria.

客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

を編成・実施します。

### Curriculum Formation and Implementation Policies カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

The University of Miyazaki creates and implements the curricula for the Faculty of Education, the Faculty of Medicine, the Faculty of Engineering, the Faculty of Agriculture, and the Faculty of Regional Innovation according to the policies listed below in order to provide education with breadth and depth that allows students to acquire expertise and fosters persons with high morals and abundant humanity, in line with the university's educational philosophy.

宮崎大学では、その教育理念に基づき、幅広く深い教養 と専門性を修得し、豊かな人間性と高い倫理性を身に付け た人材を養成するため、教育学部、医学部、工学部、農学部、 地域資源創成学部を置き、以下の方針に基づいて教育課程

#### •Curriculum formation policies 教育課程編成の方針

- 1. To acquire an education that has both breadth and depth, as wel as core knowledge all students complete a curriculum that covers the fundamentals, including introductory courses (Introduction Seminar for Academic Culture and Writing, Core Communication and Quantitative Skills, Foreign Language Communication, Health and Physical Education), thematic discovery courses (Introduction Seminar for Academic Disciplines, Introduction to Environmental and Life Sciences, Problems in Modern Society), and courses for continued development beyond
- 幅広く深い教養と基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育カリキュラムとして、導入科目(大学教育入門セミナー、情報・数量スキル、外国語コミュニケーション、保健体育)、課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生 命、現代社会の課題)と学士力発展科目を設置する。
- 2. Departments and specialized courses have been established to encourage the systematic acquisition of technical knowledge and methodologies.
- 専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために、学科・課程専門 科目を設置する。
- 3. Courses are established to allow students to go beyond their major field of study and cultivate an international outlook.
- 専攻分野を超えて学際的な視点を養う科目を設置する。
- 4. Graduate thesis courses have also been established to integrate the knowledge and skills students have acquired and to help students connect their abilities and attitudes to problem solving and newly created values.
- 獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造 つなげていく能力や態度を育成するために、卒業研究等の科 目を設置する。

#### •Implementation policies 実施の方針

- 1. Achievement targets, lesson plans, and scholastic evaluation standards and methods for each course are clarified and made public.
- 各授業科目について、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法 を明確にし、周知する。
- 2. To cultivate the ability to think independently, lesson types and guidance methods have been devised to incorporate active learning (interactive lessons, group work, presentations, etc.).
- 主体的に考える力を育成するために、アクティブラーニング (双方向型授業、グループワーク、発表など)を積極的に取り入れるなど授業形態、指導方法を工夫する。

3. Grades are based strictly upon scholastic evaluation standards.

- 成績評価基準に基づき、厳格な評価を行う。
- 4. Policies for the conferment of degrees stress the learning process and depend on the evaluation of the overall academic output of enrolled students.

学位授与方針に基づく学生の学習過程を重視し、在学中の学習 成果の全体を評価する。

### Diploma Policies (recognition of graduation and degree conferment policies) ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)

The University of Miyazaki recognizes the graduation of and confers a degree (bachelor of arts) upon all students who have been enrolled for the prescribed period of time, acquired the standard number of credits, and attained a grounding in the following.

宮崎大学では、以下の素養を身に付けるとともに、所定 の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を 認定し、学位(学士号)を授与します。

- 1. Through the completion of the basic curriculum, a mastery of the fundamental knowledge human culture, and society, an understanding of nature, and the cultivation and humanity appropriate to a working adult.
- 基礎教育カリキュラ人の履修を通して身につける。基本的な学 習能力、人類の文化、社会、自然に対する理解、及び社会人とし てふさわしい教養と人間性
- 2. Ability to explore and solve problems related to a variety of issues relevant to society through a multidisciplinary mastery that goes beyond a systematic study of the academic subjects, curriculum, and major.
- 学科・課程・重改における体系的学習と重改分野を構断する学 際的学習を通して身に付ける、社会の多様な課題を探求し解決 する能力
- 3. Knowledge from various types of coursework and the graduate thesis, general-purpose skills (communicative ability, information literacy, logical thinking, problem-solving), a positive mindset (self-management, teamwork, leadership, social responsibility as a citizen, moral values, ability to continue lifelong learning), and an international outlook.
- 多様な授業形態や、卒業研究等を通して身に付ける知識、汎用 的技能(コミュニケーション能力、情報リテラシー、論理的思考 力、問題解決力)、態度(自己管理力、チームワーク、リーダーシッ ブ、市民としての社会的責任、倫理観、生涯学習力)、及び国際性

## Research Strategies of the University of Miyazaki - 宮崎大学の研究戦略-

UoM Research Strategies and Promotion Systems 宮崎大学の研究戦略・推進体制

#### Goals of Research 研究目標

UoM seeks to contribute to the sustainable development of society and humanity on the basis of results generated through creative, cutting-edge research that engages with a range of issues confronting contemporary society in fields as medicine, agriculture, and the humanities as well as in interdisciplinary

宮崎大学は、現代社会が直面する医学、農学、工学、人文 社会学等の分野の諸問題に取り組み、独創的、萌芽的、学際 的あるいは融合的研究によって得られた成果を基盤に、人 類・社会の持続的発展に寄与する。

#### Research Strategies 研究戦略

In order to realize the goals outlined above, UoM bases its research on life science as well as environmental science, food science, and energy science, for a total of four key research areas. This research is conducted by the UoM faculties, departments, and centers, all working in close coordination with each other. We are striving to enhance our human resources in each research area in pursuit of being a fully coordinated organization.

上記の目標を達成するために、生命科学を基盤とし、環 境・食・エネルギーを加えた4つを本学の重点研究分野と し、学部、学科及び各センターがそれぞれの枠を超えて連 携融合して研究する。また、それぞれの研究分野に関わる 人的充実を図り、全学的な組織で推進する。

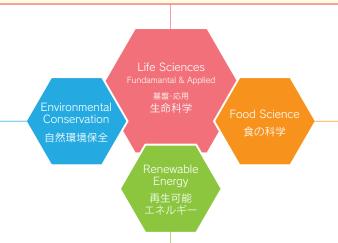
#### UoM Research Strategies (Life Sciences, Food Sciences, Energy) 宮崎大学における研究戦略(生命・環境・食・エネルギー)

We are engaged in research to grasp organic phenomena at both the micro-level of genetics and cells as well as the macro-level of individual organisms and groups, and use the results of that research to develop translational research as well as integrated applied research that combines the fields of medicine, engineering, and agriculture, thereby making a positive contribution to humanity and society.

生命現象を遺伝子や細胞レベルでミクロな視点から、個体や集団レベルでの マクロ的な視点まで幅広く捉え、その基礎研究成果をトランスレ サーチや医学・工学・農学が連携した応用融合研究(福祉機器や生体材料等の 開発等)へ発展させ、その成果を人類の生存や社会の発展へ還元する。

We are contributing to sustainable environmental conservation through research activities involving a wide range of disciplines, including research at the species and genetic level on how to maintain bio-diversity; studies on persevering natural habitats in oceans and woodlands, and how to maintain the diversity of marine, forest, and mountain habitats: and research on preventing natural disasters and safeguarding environmental resources through such measures as water purification and recycling.

地球環境に関する幅広い専門領域を連結し 牛物種や遺伝子それぞれのレベルでの牛物多 様性保全、海洋、森林、里地などでの生態系保 全の研究、自然災害に対する防災・減災、水資 源浄化やリサイクルなど資源環境型社会を実 現するための研究を通して、持続的な自然環 境の保全に貢献する。



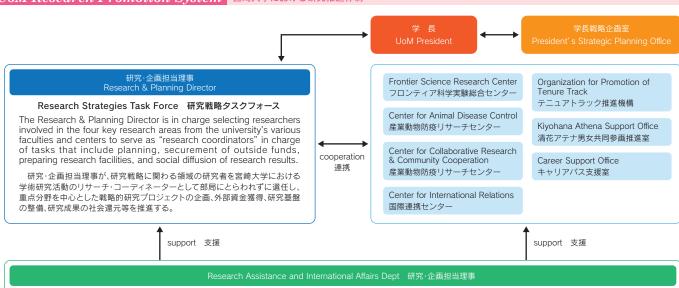
We are conducting fundamental and applied research that can contribute to strengthening and expanding the overall process of handling, distributing, and selling the abundant agricultural and livestock resources of Mivazaki Prefecture, as well as research on the functionality and safety of food products, UoM is also helping to revitalize local industry and secure a sustainable supply of human and natural resources

地域に優位性のある農水畜産物の生産から 加工、流通、販売に至るプロセスを強化・拡 大するための基礎・応用研究や食品の機能 性や安全性に関わる研究、あるいは産業動 物の国際的防疫に関する研究を通して、地 域産業の活性化あるいは人類の食糧資源 の持続的確保に貢献する。

We are contributing to a low-carbon, sustainable society through research that aims to expand the use of renewable energy, including such topics as the conversion, distribution, storage, and improved efficiency of solar power, biomass, and other types of renewable energy, as well as the increased use of innovative energy sources.

太陽エネルギーやバイオマスなどの再生可能エネルギーの変換・流通、蓄電・ 蓄熱、省エネルギー、および革新的なエネルギー高度利用など、再生可能エネ ルギーの普及を図る研究開発を通して、持続可能な低炭素社会の実現に貢献 する。

#### UoM Research Promotion System 宮崎大学における研究推進体制



Research Promotion Center: Information gathering and applications for outside funds (research funding, etc.)

研究推進課:外部資金(研究費等)に関する情報 収集·由請等

Section for Collaborative Research and Community Cooperation: Information gathering and support for joint regional and business research

産学・地域連携課:地域・企業との共同研究に関 する情報収集・支援

Global Support Office: Information gathering and support for joint research overseas

国際連携課:海外との共同研究等に関する情報

## Faculty of Medicine

### "Promoting an Environmental Health Project in an Arsenic-contaminated Area of Myanmar"

The University of Miyazaki, led by its Faculty of Medicine, teamed up with JICA in 2015 to launch a comprehansive three-year international project that aims to supply safe drinking water to people living in an arsenic-contaminated area of Myanmar, while also providing them with comprehensive healthcare services. The project involves the collaboration of Myanmar's Ministry

of Health and Sports and the University of Miyazaki's Faculty of Engineering and Center for International Relations. The project is expected to serve as a model for future initiatives carried out in Myanmar. Our team visits the arsenic-affected area annually to conduct health checkups for the residents and examine the clinical history, skin and neurological symptoms of more than 500 people in two villages. We also have started to provide safe drinking water using the arsenic mitigation facility in the project area.







Participants in the "Promoting an Environmental Health Project in an Arsenic-contaminated Area of Myanmar."

# JICA Knowledge Co-Creation Program (Group and Region Focus): "Promotion and Technical Improvement of Team Medical Care in Perinatal Care"

The School of Nursing, Faculty of Medicine accepted seven health-care professionals from Cambodia, Kenya, Sierra Leone, and Sudan to a three-week training course under JICA's Knowledge Co-Creation Program in 2017. The participants visited the UoM Hospital and other

health-care facilities in Miyazaki and the Kyushu area to learn about the perinatal care system, infection control and team medical care. The School of Nursing has been offering Maternal and Child Health training since 2007 and has accepted about 70 participants from more than 30 countries through the "Women's Health and Child Health Support for the Middle East Countries" and "Reinforcement of Public Administration and Community Partnership for Reproductive Health" programs.





JICA's "Improvement of Maternal Health" training course.

### "Japan-Asia Youth Exchange Program in Science" (SAKURA Exchange Program in Science) of the Japan Science and Technology Agency (JST)

The Faculty of Medicine has carried out a total of 10 SAKURA Exchange Program groups since 2014. We have invited over 100 students, young researchers and teachers from India, Mongolia and Myanmar under this program. In 2017, the "Empowering Women in Science and Society" program was approved by JST, and the participants from India and our female researchers discussed the role of women in science and society, and the support women require from families and society to manage both work and personal life. The participants of the SAKURA Exchange Program in Science studied in UoM laboratories and visited the UoM Hospital and other facilities in Miyazaki Prefecture. The program offered participants a chance to learn more about science and technology in Japan and also experience the local culture.

The Faculty of Medicine aims to further develop its global partnerships in order to serve not only as a community-leading healthcare specialist but also as a medical school that is open to the world.



Visitors to UoM on the Japan-Asia Youth Exchange Program in Science (SAKLIRA Exchange Program in Science)

## Faculty of Engineering

# Educational programs for international students in cooperation with overseas universities and the Japan International Cooperation Agency (JICA)

In order to provide higher engineering education to Indonesian nationals and local government officials, the Graduate School of Engineering has collaborated in the Linkage Master Double Degree Program (LP) with the National Development Planning Agency of Indonesia (BAPPENAS), the School of Architecture, Planning and Policy Development of the Institute Teknologi Bandung, and the Faculty of Engineering of the University of Gadjah Mada. Thirty-six students earned a master's degree in the program in September 2017. Besides the LP, the training session for trainers of Public Private Partnership (PPP) has been conducted for Indonesian university professors and officials since 2009, and the staff enhancement training session for Indonesian government officials under PPP has been conducted since 2010. Those educational programs are under JICA's financial support. Also, the Graduate School of Engineering started the Master's Double Degree Program (DDP) with the University of Brawijaya in October 2010. This program was subsequently introduced to universities in Myanmar, including the University of Computer Studies, Yangon, the

University of Computer Study, Mandalay, the University of Technology, Yatanarpon Cyber City, and Yangon Technological University as well as the University of Riau in Indonesia. In addition to the DDP, the Master's Degree Special Program (SP) for international students started in October 2011. Our faculty has also been accepting many students in the ABE, the PEACE and the JDS programs within the framework of human resource development of JICA.







## Faculty of Agriculture

The Faculty of Agriculture is committed to educating and producing future leaders in scientific fields to address the global issues we face. Our faculty collaborates with other overseas universities and research institutions, starting with activities in Asia. The research networks enable students to work in an international collaborative context to enhance intellectual discovery and to acquire international communication skills. By conveying our research findings across the world, we aim to make a real contribution to global society.

### Overseas office

UoM has a Bangkok office at its partner institution Kasetsart University in Thailand that serves as a resource hub for information and services in the Association of Southeast Asia Nations (ASEAN) region as a whole. We have also established an office at Gadjah Mada University in Indonesia. These offices provide advice and guidance to students and researchers who are interested in academic exchange.

#### PEACE and ABE initiative

UoM collaborates with the Japan International Cooperation Agency (JICA) to undertake the Project for the Promotion and Enhancement of Afghan Capacity for Effective Development (PEACE), African Business Education Initiative for Youth (ABE Initiative), Development of Core Human Resources in Agriculture Sector in Myanmar, and Pacific Leaders' Educational Assistance for Development of State (Pacific LEADS). These projects meet the need of developing human resources in the agriculture science field in Afghanistan, Africa, Myanmar, and the Pacific Islands.



#### Overseas activity and training

UoM has connections with other universities around the world, which allow students to improve their scientific capabilities. Various training and activities are available depending on the level of students, such as academic exchange, research discussions with other scientists, and project implementation. UoM offers an intensive English-language program involving overseas training preparation led by native speakers. When students complete their activity or training, they are required to report on their work and take part in a seminar to develop their research.



## Center for International Relations

### Arsenic Mitigation Project in Asia by UoM



UoM was involved in the certification committee for patients of chronic arsenicosis in the mining area of Toroku in Takachiho Village, Miyazaki Prefecture, as well as the medical examinations and patient support. UoM started the survey and research activities for arsenic pollution mitigation in Bangladesh in 1996 because symptoms of chronic arsenicosis were reported in parts of Asia, starting around 1995. Using know-how gained from its research activities and cooperation with the NGOs for more than 10 years in Bangladesh, UoM carried out a five-year arsenic mitigation project supported by JICA in the state of Uttar Pradesh, India, starting in 2008.

From 2015, UoM carried out the "Project for Promoting Environmental Health in Arsenic Contaminated area in Myanmar" in Thabaung Township, Ayeyarwady Region. The project's aim is to promote the implementation of an environmental health system by collecting and analyzing basic health data and taking countermeasures against unsanitary drinking water in the arsenic contaminated areas. We had installed the safe water supply filter in two village of our project area. And we carried out various types of people's awareness activities for arsenic mitigation and environmental education.

The overall goal for the project is to develop a system to supply safe drinking water and promote environmental health in other places outside the project area. We are carrying out activities in cooperation with local people in order for this project to succeed.





# Faculty of Education

## 教育学部

http://www.miyazaki-u.ac.jp/edu/

### Policy of the Department 学部の方針

The faculty of Education trains prospective teachers for elementary school, junior high school, kindergarten, and special needs school, with the aim of fostering innovative teachers capable of supporting children's growth. In line with these goals, for the courses of study listed below, we select suitable students who have a deep interest in children, communities, teaching, and an understanding of humanity.

教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。したがって、各コースの教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えるとともに、子どもや地域社会、教科の指導、人間への理解に関心の高い人を受け入れるために、多様な入学者選抜を行います。

## Department 学科

#### Teacher Training Division 学校教育課程

- Unified Elementary and
  Junior High School Education Course
  小中一貫教育コース
  - ─● Elementary School Major 小学校主免専攻 ─● Junior High School Major 中学校主免専攻
- Teaching Profession Practice Basic Course 教職実践基礎コース
- Developmental Support Education Course 発達支援教育コース
  - -● Understanding Children Major 子ども理解専攻 -● Special Needs Education Major 特別支援教育専攻







### Graduate School of Education 教育学研究科

The Graduate School of Education (Master's Course) consists of two majors: Professional Teacher Development and School Education Support.

The Professional Teacher Development Major aims to train school leaders and mid-career teachers in advanced theory as well as practical and applicable skills, while also fostering competent young teachers.

The School Education Support Major consists of two courses: Educational and Clinical Psychology and Japanese Language Support. The Educational and Clinical Psychology Course trains specialists of education for children with mental health problems or disabilities through courses on educational psychology, clinical psychology, and special needs education. The Japanese Language Support Course cultivates professionals who have the capacity to provide 1) learners support for children with international background in Japan, and also 2) Japanese language education support for children who are living abroad. Moreover, the course focuses on training skills for supporting foreigners and promoting international exchanges in both Japan and overseas.

教育学研究科(修士課程)には、教職実践開発専攻と学校教育 支援専攻の2専攻を設けています。

教職実践開発専攻は、学校教育に関する高度の理論、実践力及 び応用力を身に付けたスクールリーダーや中堅教員、力量のあ る新人教員を養成することを目的としています。

学校教育支援専攻には、教育臨床心理専修と日本語支援教育 専修があり、教育臨床心理専修では、教育心理学や臨床心理学、 特別支援教育など、メンタルヘルスの問題を抱える幼児児童生 徒や、障害のある幼児児童生徒に対する教育・支援の専門家の養 成を行います。日本語支援教育専修では、海外にルーツを持つ児 童生徒に対して日本での学習を支援したり、海外で日本語を学 ぶ人に対して日本語の教育を行ったりできる教員や、また、日本 国内で外国人支援や国際交流の推進ができる人材の養成を行い ます。

### Master's Course 修士課程

Professional Teacher Development Major 教職実践開発専攻

> School Education Support Major 学校教育支援専攻

Educational and Clinical Psychology 教育臨床心理専修

Japanese Language Support 日本語支援教育専修

## Faculty of Medicine

## 医学部

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/english/

## Policy of the Department 学部の方針

The University of Miyazaki's Faculty of Medicine was established in October 2003 through the merger of Miyazaki University with Miyazaki Medical College, which was founded in 1974.

Our faculty aims to serve as a community pillar of education and research in the field of medicine and medical science. We are dedicated to imparting to our students the advanced medical and nursing skills needed for them to become well-rounded doctors, nurses, and researchers, while also fostering the ethical principles of placing the utmost priority on human life. In this way, we continue to strive to contribute to the welfare of society and uphold the highest professional standards.

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、 平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。

医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。



## Department 学科

- School of Medicine 医学科
- School of Nursing 看護学科





## Graduate School of Nursing Science 看護学研究科

In order to respond to the changing needs of local communities and of an increasingly complex society, while keeping pace with the ever-evolving specialization of nursing, UoM's Graduate School of Nursing Science aims to foster researchers, educators, and practitioners who can develop their potential and play an active role in the field of health and medical welfare. The graduate school comprises the Training Course for Researchers and Training Course for Advanced Practice Nurses, as well as a special course for midwife candidates preparing for the examination in Training Course for Advanced Practice Nurses.

看護学研究科は、変化する地域社会及び複雑化する社会情勢のニーズ、拡大・専門化する看護学及び看護学教育の必要性から、学部教育を基に更なる能力開発と同時に保健医療福祉の現場で広く活躍できる看護研究者・教育者・実践者・指導者を育成することを目的としています。研究者育成コース及び実践看護者育成コースの2つのコースを設置し、実践看護者育成コースには助産師免許受験資格を得るコースも設置しています。

### Master's Course 修士課程

Master Course for Nursing Science 看護学専攻

**Training Course for Researchers** 研究者育成コース

Training Course for Advanced Practice Nurses 実践看護者育成コース

# Faculty of Engineering

## 工学部

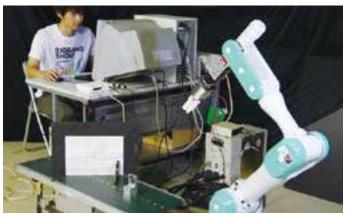
http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/engineering\_e.html

### Policy of the Department 学部の方針

The Faculty of Engineering aims to be a faculty that is deeply rooted in Miyazaki Prefecture while keeping a global perspective. The faculty focuses on the education of personnel who will be able to rise to new challenges with the accelerating progress of science and technology. It also emphasizes internationally acclaimed academic research, while ensuring a substantial intellectual contribution to the local community through the development of local industries. In April 2012, we reorganized the faculty into seven new departments and adopted an advanced, comprehensive, and interdisciplinary approach in the field of education and research, working together cooperatively. This serves the purpose of developing scientific technology that can meet the challenges of the global environment in the 21st century. Further, we cultivate a high level of awareness of humanitarian issues among our students.

工学部は、"宮崎に根ざし、世界に目を向けた工学部"を目標に、今後ますます進展する高度な科学技術に挑戦し、創造することができる人材の育成につとめ、国際的にも評価される質の高い学術研究活動を進めています。さらに、地域産業の発展を推進することにより、地域社会に知的な貢献をすることにつとめています。平成24年4月に本学部では改組を実施し、新しい7学科の連携協力による教育・研究分野の高度化、学際化、総合化を推し進め、21世紀の地球環境と共生できる科学技術の創造と、それを担う人間性豊かな人材の育成を目指します。





### Department 学科

- Applied Chemistry 環境応用化学科
- Civil and Environmental Engineering 社会環境システム工学科
- Environmental Robotics 環境ロボティクス学科
- Mechanical Design Systems Engineering 機械設計システム工学科
- Applied Physics and Electronic Engineering 電子物理工学科
- Electrical and Systems Engineering 電気システム工学科
- Computer Science and Systems Engineering 情報システム工学科



## Graduate School of Engineering 工学研究科

The University of Miyazaki's Graduate School of Engineering is an advanced education and research institution in the field of engineering that aims to develop scientists and engineers with cutting-edge expertise and promote academic research.

Lectures in English are delivered in the international programs such as the Master Double Degree Program and the Master Degree Special Program in order to keep our professional education at a global standard.

工学研究科は、宮崎地域における高度な工学的学術の教育・研究機関として、高度で専門的な科学技術者を育成するとともに、学術研究を推進しており、多くの学生を社会に送り出しています。

また、ダブルディグリープログラムや留学生特別プログラムを履修する外国人留学生のために英語による講義を開設するなど、教育の国際化を進めています。

### Master's Course 修士課程

Department of Engineering 工学専攻

Environmental Systems Course 環境系コース

Energy and Electronics Course エネルギー系コース

Mechanical Systems and Informatics Course 機械・情報系コース

# Faculty of Agriculture

## 農学部

http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/english/index.html

### Policy of the Department 学部の方針

The mission of agriculture in the 21st century is to overcome global food problems and environmental crises through production, development, and utilization of biological resources for maintaining a coexistence with all life on Earth. Situated in the heart of the food production base in Japan, the Faculty of Agriculture has contributed to agricultural development and aims to find solutions to issues related to food, environment, and life, while creating a peaceful and affluent local community. Along with addressing such issues common to humankind, the faculty will make further academic contributions to the development of agriculture, not only in Japan but also worldwide, particularly in Asia, Africa, and Latin America, while also fostering individual creativity.

21世紀の農学の使命は、わたしたち人類の生存と他の生物との共存・共生を図りながら、有用な生物資源の生産・開発・利用を行うことによって、地球規模での食料問題と環境危機を克服することです。日本の食料生産基地に位置し、今日までの農業発展に貢献してきた宮崎大学農学部は、「食料・環境・生命問題の解決」と「平和で潤いのある地域社会の構築」という人類共通の目標を掲げています。今後、日本だけでなく、アジア、アフリカ、中南米など世界の農業発展に向けての一層の学術貢献と、主体性と創造性に富んだ個性豊かな人材を輩出する責務が果たせると信じています。





### Department 学科

- Agricultural and Environmental Sciences 植物生産環境科学科
- Forest and Environmental Sciences 森林緑地環境科学科
- Biochemistry and Applied Biosciences 応用生物科学科
- Marine Biology and Environmental Sciences 海洋生物環境学科
- Animal and Grassland Sciences
   畜産草地科学科
- Veterinary Sciences 獣医学科



## Graduate School of Agriculture 農学研究科

The five graduate schools were reorganized in the 2014 academic year in order to establish the new Graduate School of Agriculture (comprising six courses). The objectives of the Graduate School of Agriculture are to enhance the specialized nature of the faculty's education; resolve domestic and international issues related to food, the environment, resources, and life; and contribute to the creation of a sustainable and productive society that exists in harmony with the natural environment. It also aims to develop professional technicians and researchers from many different countries who possess sophisticated knowledge in the field of agriculture and the ability to put this expertise to practical use.

平成26年度に従来の5専攻を改組し、新たに農学専攻(1専攻6コース)を設置しました。農学専攻では、学部教育の専門性をさらに深化させ、国内外の食料、環境、資源及び生命に関する問題点を解決し、自然環境と調和のとれた持続的生産社会の創造に貢献できるとともに、農学に関する高度な専門知識と応用能力を有する国際色豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を目指します。

#### Master's Course 修士課程

#### Graduate School of Agriculture 農学専攻

Course of Agricultural and Environmental Sciences

植物生産環境科学コース Course of Forest and

Environmental Sciences 森林緑地環境科学コース

Course of Biochemistry and Applied Biosciences 応用生物科学コース Course of Marine Biology and Environmental Sciences

海洋生物環境科学コース
Course of Animal and Gra

Course of Animal and Grassland Sciences

畜産草地科学コース

International Course of Agriculture\* 農学国際コース\*

principle, each course curriculum ※コースのカリキュラ」 conducted entirely in English 原則全て英語で実施

# Faculty of Regional Innovation

# 地域資源創学部

http://www.regional-innovation.miyazaki-u.ac.jp/

## Policy of the Department 学部の方針

The Faculty of Regional Innovation, launched in 2016, aims to contribute to sustainable regional development. The new faculty has generated high expectations for its objective of contributing to regional and industrial development on the basis of the natural and social resources as well as the accumulated knowledge and expertise of the University of Miyazaki.

The educational approach of the new faculty emphasizes the need to gain management knowledge and skills. Students learn subjects with a strong emphasis on management, while acquiring basic knowledge in a range of academic disciplines needed to understand local resources and tackle regional problems related to the social sciences, agriculture, and engineering. On the basis of this approach, the faculty aims to cultivate students to become regional innovators able to comprehensively manage sustainable regional development through addressing socio-economic problems (e.g., population decline and stagnant regional economies) and to create innovative value within the regional industrial and business setting through recognizing and utilizing the available local resources.



地域資源創成学部(略称「地域学部」)は、地域の持続的発展に 資するべく2016年に開設されました。地域学部には、宮崎大学 の強みや今まで積み上げてきた知見及び専門性を踏まえ、地域 および産業づくりを担っていくことができる人材養成について 強い期待が寄せられています。

地域学部は、マネジメントの知識・技能を得る教育アプローチを重視します。学生は、マネジメント力を強化する科目を学びますが、その際、地域に存在する課題に密接に関係する社会・人文科学、および農学・工学分野を含む多角的な領域の基礎知識も習得します。このアプローチをもって、地域学部は、社会経済的課題(例えば人口減少や地域社会経済の衰退)を解決しつつ持続可能な地域づくりを包括的にマネジメントでき、地域資源を理解し利活用しつつ地域産業やビジネス上において、革新的な価値を創出できる地域創成人材を輩出することを目的とします。

## Department 学科

- Business Management Course 企業マネジメントコース
- Regional Management and Development Course 地域創造コース
- Regional Industry Creation Course 地域産業創出コース





Students in the Faculty of Regional Innovation acquire a solid management foundation (management, marketing, accounting, etc.) by completing the subjects Management Core and Management Advanced, in addition to Basic Education. The faculty also offers three courses—Business Management, Regional Industry Creation, and Regional Management and Development—that allow students to gain maximum exposure to their chosen field of specialization. Students can choose one of these courses along with those related to their given career objective. In addition, students engage with real—world practitioners through hands—on learning opportunities, including domestic and international internships at companies or local governments and ongoing fieldwork conducted in communities and within organizations.

In order to develop students' capacity to communicate logically and negotiate successfully in English, the faculty's curriculum includes Professional English.

地域学部の学生は、基礎教育科目に加え、マネジメントコア、マネジメントアドバンスト科目を履修することで、基盤となるマネジメントの専門知識(マネジメント、マーケティング、会計等)を習得します。また、地域学部は、企業マネジメント、地域産業創出、地域創造という3つのコースを提供し、学生が希望する分野における習得機会をより多くとることができるようにしています。学生は、就業上の目的に応じ、これらのコースから一つを選択できます。加えて、国内外の企業や行政機関でのインターンシップや地域社会や企業における継続的実習機会など、実務者とともに実践する実践的な学習機会も設けています。

また、英語で論理的にコミュニケーションを行い、交渉で成功するための能力を養成するために、カリキュラムに事業活動で使える英語を含めています。

## Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

## 医学獣医学総合研究科 http://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/en\_index.html

The Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine is committed to contributing to the development of life science and the improvement of social welfare. We offer a doctoral course aiming to produce highly specialized professional doctors, veterinarians, researchers, and educators in all disciplines. The graduate school also offers a Master's course aiming to train medical technicians who engage in advanced medical treatment, research, and education in medicine, veterinary medicine and medical sociology.

医学獣医学総合研究科では、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者 の養成を主眼とした博士課程と、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育にお いて高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼とした修士課程を設置し、生命科学の 発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。



#### Doctoral Course 博士課程

#### Medicine and Veterinary Medicine 医学獣医学専攻

Training Course for Physicians with **Professional Skills** 

高度臨床医育成コース

Training Course for Veterinarians with **Professional Skills** 

高度獣医師育成コース

Training Course for Researchers of Medical and Veterinary Science

研究者育成コース

### Master's Course 修士課程

Medical and Veterinary Science 医科学獣医科学専攻

Training Course for Researchers of Life Science 生命科学研究者育成コース

Training Course for Healthcare and Service Innovation Professionals 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

Training Course for Bioethics Coordinators 生命倫理コーディネーターコース

## Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

## 農学工学総合研究科

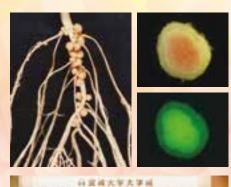
http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/agr\_eng/english/index.html

The Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering is founded on the disciplines of agriculture and engineering and their collaborative achievements. By preparing students with an integrated comprehension grounded in comprehensive knowledge and a capacity for high-level research, we are working to deepen the field of collaborative agricultural engineering education and research and meet the demand for advanced technical specialists who will contribute to a society built on knowledge and technology.

農学工学総合研究科は、農学と工学の学問的背景と連携協力の実績を踏まえて、農学と工 学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度 な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。



#### Doctoral Course 博士後期課程



資源環境科学専攻

Department of Environment

and Resource Sciences

Department of **Applied Biological Science** 生物機能応用科学専攻

Department of Materials and Informatics 物質·情報工学専攻

Course of Environmentally Harmonized Technology and Science 環境共生科学教育コース

Course of Sustainable Agricultural Technology and Science 持続生産科学教育コース

Course of Bioscience and Biotechnology 生命機能科学教育コース Course of Marine Biological Science 水域生物科学教育コース

Course of Advanced Materials and Energy 新材料エネルギー工学教育コース Course of Production Technology 生産工学教育コース

Course of Computer Science and Bio-informatics 数理情報工学教育コース



#### ● University of Miyazaki Hospital

医学部附属病院

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/for-foreigners/

The 632-bed hospital of the Faculty of Medicine, established in 1977, is the regional medical center of Miyazaki Prefecture. In 1994, the hospital was designated an advanced treatment hospital, and in 2008 it was recognized as the prefecture's main hospital for cancer treatment. In 2012, the emergency and critical care center was established along with the commencement of an air ambulance service, providing the latest advanced treatment.

医学部附属病院は、1977年に開設され、総病床数632を有する宮崎県における中核的医療機関です。1994年には特定機能病院の指定、2008年には都道府県がん診療連携拠点病院の認定を受け、2012年には救命救急センターの設置及びドクターへリの運航を開始し、最新の高度な医療を提供しています。



#### University Library

附属図書館



http://opac.lib.miyazaki-u.ac.jp/?lang=english

The University Library comprises the Main Library at the Kibana Campus and the Medical Branch Library at the Kiyotake Medical Campus. Their combined collection numbers around 630,000 books. Recently, the University Library has improved its information service system, including electronic journals and an online academic repository.

附属図書館は、本館(木花キャンパス)と医学分館(清武キャンパス)から構成されています。附属図書館は長年にわたって、蔵書(約63万冊)を蓄積するとともに、近年はインターネットを介しての電子ジャーナルや学術情報リポジトリによる情報提供体制を整えています。

#### •Veterinary Teaching Hospital

農学部附属動物病院

The Veterinary Teaching Hospital was established in 1953 with the aim of promoting clinical practice, education and research of veterinary medicine. Since then, the hospital has contributed much to the realization of that purpose. The hospital was expanded and strengthened by the addition of modern facilities such as ultrasound and X-ray equipment for small and large animals, etc., in order to meet the increased demands for current research development and advanced veterinary care.

農学部附属動物病院は、獣医学の臨床、教育、研究に資する目的で、1953年に開設され、以来、その目的に沿って様々な貢献を果たしてきました。1985年には、新しいキャンパスに移転し、現代のニーズに応じるため大動物・小動物対応の超音波検査装置、X線CTなどの新しい設備を導入し、最新の獣医診療を行っています。

#### • Frontier Science Research Center

フロンティア科学実験総合センター

The Frontier Science Research Center (FSRC) comprises the Department of Bioactive Peptides, the Department of Infectious Diseases, the Department of Biosafety Management for Open Field Trials of GM Plants, and the Department of Biotechnology. The Department of Biotechnology has four divisions: Bio-Resources, Genetic Resources, Molecular Biology and Analytical Science, and RI Research. FSRC offers broad support for education and research activities at the University of Miyazaki and also promotes advanced life science research in the fields of infectious diseases and bioactive peptides.

フロンティア科学実験総合センターは、「生理活性物質研究部門」、「感染症研究部門」、「開放系栽培研究ほ場安全管理部門」及び「実験支援部門」の4部門で構成されます。本センターはゲノム情報を基盤とした感染症の研究や生理活性ペプチドの探索と機能解明など、宮崎大学における先端的な生命科学研究を推進するとともに、生物



資源、遺伝資源、分子形態・機能解析、RIの4分野から構成される実験支援部門を通じて、学内の教育・研究活動に対する幅広い支援を行っています。

### ● Center for Collaborative Research and Community Cooperation

産学・地域連携センタ-



The Center for Collaborative Research and Community Cooperation (CRCC) is playing a central role for collaborative programs with industries and communities. The CRCC has three sections. The first section handles cooperation and collaboration with external institutions such as industrial firms and municipal governments. The second section is in charge of intellectual property rights and related applications. Finally, the third section is responsible for instrumental analysis support. The CRCC strives to advance the University of Miyazaki's collaborative research in accordance with the mission of each of the three sections.

産学・地域連携センターは、大学と学外機関との共同研究のコーディネートならびに支援や公開講座を実施する「産学・地域連携部門」、本学における特許等の知的財産の創出と活用を行う「知的財産部門」、および各種機器分析試験に応える「機器分析支援部門」の3部門からなります。本学の産学・地域連携活動の窓口として、産業界ならびに地域社会の振興に貢献します。

### Center for Animal Disease Control

産業動物防疫リサーチセンター

The mission of the Center for Animal Disease Control (CADIC) is to tackle existing problems of transboundary and zoonotic livestock diseases and the threats likely to impact livestock industries, based on cutting-edge technology and evidence-based strategy. CADIC also aims to contribute to a sustainable society by educating future generations of researchers, livestock farmers, and people involved in the food industry.

産業動物防疫リサーチセンターは、2011年10月に国際水準の産業動物に関する教育・研究体制の確立を目指して設置されました。



#### More specifically, CADIC aims to develop the following: 活動內容

- 1. Countermeasures to prevent emerging and transboundary infections
- $2.\ Epidemiological\ methods,\ disease\ control,\ investigation,\ and\ eradication$
- 3. New diagnostic procedures for emerging animal infectious diseases
- 4. International education programs
- 5. A sustainable livestock industry

新興感染症および越境性感染症に対する防疫戦略の策定 疫学手法、感染症制御に関する開発研究

重要な家畜伝染病の新たな診断法開発に関する先端的研究 産業動物防疫に関するグローバル人材育成教育プログラムの開発

家畜生産基盤の強化に基づく持続的産業動物生産戦略の策定

### • Center for Education and Student Support

教育・学生支援センター



The Center for Education and Student Support conducts research for improving the quality of university education as well as students' learning environment. The center also conducts programs for faculty development and provides various practical student services.

教育・学生支援センターは、大学教育の在り方に関わる研究を中心に大学教育の質の向上、学習環境の充実及びFDを推進する教育企画事業と、課外活動、生活支援及びキャリア支援に関する学生支援事業を推進しています。

### ● Language Education Center

語学教育センター

The Language Education Center develops and implements language programs in accordance with the needs of different faculties in general as well as specific education curricula. The center aims to cultivate students with practical intercultural communicative skills to be competitive in the dynamic and diversified globalized society. In addition, the center provides various extra-curricular activities, such as English Cafe, English Conversation Club, and Intensive English Programs for studying abroad, for both students and faculty staff to improve their language skills. The center, in cooperation with the International Relations Office, provides Japanese language education to foreign students in preparing them to adapt successfully into living and studying in Japan. Furthermore, the center offers Japanese language support to domestic and international collaborative institutions.

語学教育センターでは、関係部局と連携しながら、専門分野を含めた語学教育の様々なプログラムを企画・実施するとともに、語学教育方法の研究・開発を主体的に推進しています。とりわけ、海外企業、国際機関等での活躍を可能とする実践的な語学力の向上を図るための教育プログラムの実践、及び、外国人留学生の学習や生活を支える日本語教育に力を入れています。授業以外においても、学生・教職員が自由に参加できる課外語学プログラムの開講、資格試験や留学・研修に向けた語学学習についての相談、特定の専門分野のための語学教材作成、国際連携センターや地域と協力しての国内外での日本語教育支援等を積極的に行っています。





#### • Health Care and Safety Center

安全衛生保健センタ



The Health Care and Safety Center provides first-aid treatment for injuries and illnesses, as well as giving advice on lifestyle-related diseases and offering counseling for mental problems. It also engages in safety awareness activities for prevention of accidents during experiments, research, and other work, and formulates various safety manuals.

安全衛生保健センターは、急病やけがの応急処置をはじめ、生活習慣病に対するアドバイスや心理・精神的な問題に対するカウンセリング等を行っています。また、実験・研究中や作業中の事故を防止するための啓発活動や各種安全マニュアルの策定等も行っています。

#### • Office of Support for Students with Disabilities

障がい学生支援室

The Office of Support for Students with Disabilities provides the individual support necessary for each student with a disability in collaboration with the teaching staff of the relevant faculty.

Also, it liaises with and coordinates activities among the supporting staff, faculty administrators, and course lecturers in order to support students with disabilities in their studies and to facilitate their student lives.

障がい学生支援室では、障がいのある学生一人ひとりに必要なサポートを、所属学部の教員等と一緒に考え、提供していきます。また、障がいのある学生への修学・学生生活支援が円滑に行われるように、サポートスタッフ、学部担当者、授業担当教員等との連携やコーディネイトの役割を担います。

#### Center for the Promotion of Institutional Research

IR推進センタ・

The Center for the Promotion of Institutional Research is a university organization whose aims are to collect information on education, research, social contribution, and university administration at the University of Miyazaki in a form that is easy to use, and to support strategies and decision making for the university's targets, plans, and operating policies.

From a diverse perspective, the center provides many services to actively support the education, research, and social contribution activities of the University of Miyazaki, including analyzing university affairs and the job-seeking activities of students and improving follow-up systems, as well as collecting and analyzing data on the teaching capabilities and research performance of academic staff to use for policy development to enhance the university's social contribution.

IR 推進センターは、宮崎大学における教育・研究・社会貢献・大学経営等に関する情報を利用しやすい形で蓄積し、それらを的確かつ適切に整理・分析して大学構成員に提供し、大学の目標・計画、運営方針の策定及び意思決定を支援することを目的に設置された組織です。

宮崎大学学生の学務・就職等の情報を分析して、学生のフォローアップ体制を改善したり、宮崎大学教員の教育力・研究力に関する情報を蓄積・分析して、社会貢献のための方策策定に利用するなど、様々な視点から宮崎大学の教育・研究・社会貢献活動を活発にするための業務を行っています。

#### • Organization of Effective ICT Planning and Management / Information Technology Center

情報化統括機構 情報基盤センタ

The Information Technology Center has the following functions.

- 1. To plan, implement, and check ICT policy
- 2. To improve and maintain an ICT infrastructure
- 3. To support users of ICT systems
- 4. To enhance ICT security

The Information Technology Center ensures that a safe and comfortable education and research environment is provided to students and faculty at the University of Miyazaki.



情報基盤センターは、大学全体の情報施策の立案・策定、点検・検証及び情報ネットワーク、情報基盤、情報システムの整備、運用管理を行うとともに、情報利用者の支援と情報セキュリティの向上を目指します。

## Center for International Relations 国際連携センター

Following the motto, "Look at the World, Start with the Community," the University of Miyazaki focuses on four international projects:

#### Four international projects: 四つの柱

- 1. Academic research exchange
- 2. Student exchange
- 3. International cooperation for developing countries
- 4. Supporting the internationalization of the local community

Toward that end, we are actively engaged in exchanges with universities around the world.

The Center for International Relations, in charge of international projects at UoM, has two sections: International Cooperation and International Student Support. The International Cooperation Section addresses such specific issues as health care, the Asia Arsenic Mitigation Project, and agricultural development in developing countries. The International Student Support Section is responsible for the Japanese Studies Student Exchange, and Double Degree Programs, as well as public relations and student counseling.

The center also provides comprehensive support to exchange students and foreign researchers.

学術交流(研究者交流) 学生交流 国際協力(途上国支援)

地域の国際化への貢献





宮崎大学は、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもと、国際事業として4つの柱を据え、世界各国の大学等と活発な交流を展開しています。

宮崎大学の国際事業を担当する国際連携センターは「国際協力部門」と「留学生支援部門」から成り、国際協力部門では保健医療、アジア砒素汚染対策、農業開発の各分野を、留学生支援部門は、日本語日本事情教育、国際広報、学生プログラム、生活指導の各分野を担当しています。

また、国際連携センターでは、外国人研究者と外国人留学生に対するワンストップサービスを実施しています。

## Overseas Office 海外オフィス

UoM has five overseas offices that support academic and student exchanges.

宮崎大学は下記の海外拠点を設置し、本学と各大学との学術交流・ 学生交流を積極的に支援しています。

- Malang Office (University of Brawijaya, Indonesia)マランオフィス(ブラウィジャヤ大学内(インドネシア))
- Bangkok Office (Kasetsart University, Thailand) バンコクオフィス(カセサート大学内(タイ)
- Yogyakarta office (Gadjah Mada University, Indonesia)ジョグジャカルタオフィス(ガジャマダ大学内(インドネシア)
- Yangon Office (University of Computer Studies, Yangon, Myanmar) ヤンゴンオフィス(ヤンゴンコンピュータ大学内(ミャンマー)
- Hanoi Office (Vietnam National University of Agriculture, Vietnam) ハノイオフィス(ペトナム国立農業大学内(ベトナム))



Hanoi Office (Vietnam National University of Agriculture, Vietnam) ハノイオフィス(ベトナム国立農業大学内(ベトナム))



Bangkok Office (Kasetsart University, Thailand) バンコクオフィス(カセサート大学内(タイ))



Yangon Office (University of Computer Studies, Yangon, Myanmar) ヤンゴンオフィス(ヤンゴンコンピュータ大学内(ミャンマー))

## Islamic Center イスラーム文化研究交流棟

The University of Miyazaki established the Islamic Center on its Kibana campus in 2014. The center was established to meet the needs of Muslim students, who make up around a third of all international students at  $\dot{\mathbf{U}}o\mathbf{M}$ . The center is used for a range of cultural, educational, and research activities.

宮崎大学は2014年4月にキャンパス内にイ スラーム文化研究交流棟を設置しました。宮 崎大学の留学生のうち約1/3の学生はイスラ ム圏の学生であり、これらの学生からの要望 により、交流棟は設置されました。交流棟はイ スラーム文化に関する文化、教育、研究活動に 利用されています。





## International Dormitories 留学生用宿舍

Starting in 1994, the University of Miyazaki put in place a system to accommodate foreign exchange students and researchers, including dormitory facilities for them. In 2014, UoM opened the new Kiyotake Dormitory, and the following year opened the Kibana Dormitory. Together, these two facilities can house 81 people (Kiyotake: 50 / Kibana: 31), and they are equipped with all the amenities needed for residents to focus on their studies, including furniture and appliances.

宮崎大学では、1994年度に外国人留学生・研 究者等向けの国際交流宿舎を整備し、留学生等 の受入体制を整えています。2014年度には清武 キャンパス内に50人、翌2015年度には木花キ ャンパス内に31人が入居可能な留学生宿舎を 整備し、これまでより81名多く宿舎に入居でき るようにしました。また、新設した二つの宿舎は いずれも、家具・家電が備え付けられており、す ぐに勉学に専念できるようにしております。





Kibana Dormitory 木花ドミトリー

Kiyotake Dormitory 清武ドミトリー

## International Alumni Association 留学生同窓会

Over the past 20 years, over a thousand exchange students have studied at the University of Miyazaki. Given this growing number, UoM recognized the need to create networks for alumni who have returned to their home countries. UoM has been strengthening these networks, including the creation of an alumni association in Taiwan in June 2014, one in Indonesia in October of the same year and one in Vietnam in October 2016.

宮崎大学では、過去20年間で1000人以上の留学生を受 け入れてきました。彼らは、母国に帰国した後、要職につい て活躍するケースも多く、卒業した留学生のネットワーク を強化していくことも重要となります。そこで、2014年6 月に台湾で、同10月にはインドネシアで、2016年10月に もベトナムで留学生同窓会を設立し、海外ネットワークの 強化を図っています。







## Guide for International Students at UoM 宮崎大学への留学案内

UoM has entered academic exchange agreements with more than 100 institutions around the world. In collaboration with partner institutions, UoM engages in international research and educational activities. Currently, 229 international students from 31 countries are enrolled at UoM (as of October 1, 2017).

宮崎大学は、世界の約100校 以上の大学と学術交流協定を 結び、学生交流や研究教育に関 する協力や交流を行っていま す。また、世界31ヶ国、229名 の留学生(2017.10.1現在)が 本学で学んでいます。



For further information about studying at UoM, please contact us via e-mail at: 留学についてのお問い合わせは

ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp





## Student Categories and Admissions 学生の区分と入学手続き

At UoM, students who are registered in a faculty or graduate school are regarded as regular students. Other students outside these groups who wish to further their education can also be categorized as research students or auditors.

Most classes are conducted in Japanese, so it is preferable to learn Japanese to a satisfactory level before enrolling.

日本において大学の教育・研究の基本組織は学部及び大学院です。

学部及び大学院に在籍する学生を本学では正規生と称していますが、この他にも研究生、科目等履修生等の制度を設け、学問を志す人々のために 便宜をはかっています。

本学の授業の大部分が日本語で行われるため、入学前に日本語を習得しておくことが望ましいです。

\*For more details on the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU), please visit the Japan Student Services Organization's (JASSO) website: 日本留学試験の詳細は、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページ等にて確認してください。

http://www.iasso.go.ip/en/index.html

\*For more details on Japanese Language Proficiency Test (JLPT), please visit the Japan Educational Exchanges and Services' (JEES) website:

日本語能力試験の詳細は、財団法人日本国際教育支援協会(JEES)のホームページ等にて確認してください。

http://www.jlpt.jp/e/index.html

#### Undergraduate Students 学部生

#### **Enroll in one of the university faculties.** 大学の学部に入学する学生

Period of enrollment 在学期間

4 years

Note: 6 years required for Faculty of Medicine and for Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture.

※医学部、農学部獣医学科は6年

Qualifications 出願資格

Completed 12 years of education outside of Japan 外国において12年間の学校教育を修了した者。

**Procedures** 出願方法

- 1. Take EJU (Examination for Japanese University Admission for International Students) held by Jasso (The Japan Student Services Organization) in June or November. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(6月と11月のいずれか)を受験する。
- 2. Pass the Special Selection for Privately Financed Overseas Students at UoM in February. 宮崎大学が実施する「私費外国人留学生入試」(2月)を受験する。

#### Conduct research under the guidance of an adviser and seek a Master's degree or a Doctorate degree. 特定のテーマについて、指導教員の指導を受けて研究し、「修士」または「博士」の学位取得を目指す大学院生

Period of enrollment 在学期間

2 years (Master's course), 3 years (Doctoral course)

Note: 4 years required for Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine.

修士課程2年、博士課程3年 ※医学獣医学総合研究科は4年

**Procedures** 出願方法

Master's course: Completed 16 years of education outside of Japan. Doctorate course: Completed 18 years of education outside of Japan.

\*Application qualifications, method and entrance examination schedule will differ according to graduate course. \*Required documents are curriculum vitae, research proposal, and financial statement.

外国において、16年(修士課程)又は18年(博士課程)の学校教育を修了した者。

※出願資格、方法及び時期については、研究科により異なります。

※出願には、履歴書、研究計画書、成績証明書、経費支弁能力証明書などが必要です。

#### Postgraduate Research Students 研究生

Participate in research work in a specific field under the guidance of an adviser; degree and credits are not awarded. 特定のテーマについて、指導教員の指導を受けて研究する学生

Period of enrollment 在学期間

1 month to 1 year

1月~1年間 ※学位取得及び単位取得を目的としない。

Qualifications 出願資格

A bachelor's degree or an equivalent qualification.

\*Application qualifications and method will differ according to faculty or graduate course.

\*Required documents are curriculum vitae, research proposal, and financial statement.

大学を卒業した者、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

※出願資格、方法及び時期については、学部により異なります。

※出願には、履歴書、研究計画書、成績証明書、経費支弁能力証明書などが必要です。

#### Auditors

科目等履修生

#### Part-time students who choose to attend some classes. いくつかの授業科目を選んで受けるパートタイムの学生

One semester or two semesters (one year)

\*Required documents are curriculum vitae, research proposal, and financial statement.

Period of enrollment 聴講期間

\*\*Postgraduate research students and auditors must participate in a minimum of 10 hours per week of classes or research.

前期・後期もしくは1年間

※出願には、履歴書、研究計画書、成績証明書、経費支弁能力証明書などが必要です。 ※※研究生・科目等履修生は、週10時間以上研究または聴講することになっています。

#### Tuition & Fees

	Examination Fee	Entrance Fee	Tuition
Undergraduate Students	17,000 yen	282,000 yen	267,900 yen (each semester)
oridergraduate Students	17,000 yell	202,000 yen	535,800 yen (yearly)
Graduate School Students	30,000 yen	282,000 yen	267,900 yen (each semester)
Graduate School Students	30,000 yen	202,000 yen	535,800 yen (yearly)
Postgraduate Research Students	9,800 yen	84,600 yen	29,700 yen (one month)
Auditors	9,800 yen	28,200 yen	14,800 yen (for one credit)

<sup>\*</sup>All fees are subject to change.

## Study and Funding 日本留学の種類

There are four different ways for international students to study in Japan, depending on the type of funding they receive and the length of their study. 日本への留学には、以下の4つの形があり、それぞれ留学経費の手当の仕方や期間が異なります。

Japanese government-funded 国費外国人留学生

Students who are selected by either the embassy or their home university to receive scholarships and flight expenses from the Japanese government.

大使館または大学推薦により選考され、日本政府から奨学金や渡航費等の援助をうける留学生。

Overseas government-funded 外国政府派遣留学生

Students who receive study expenses from the Malaysian, Indonesian, or other governments to train at Japanese Language schools or universities.

マレーシア・インドネシアなど各政府の留学経費の負担により、日本語等の予備教育機関及び大学等に受け入れられた 留学生。

Exchange students 短期留学生(交換留学生) Students at universities with which UoM has an exchange agreement can study for a semester or more, within one year in principle, and obtain credits at UoM. The aim is not to obtain a degree but to experience campus

主に大学間交流協定等に基づいて母国の大学に在籍し、学位取得を目的とせず、日本の大学等における学習、異文化体 験、語学の習得などを目的として、概ね1学年以内の1学期又は複数学期、日本の大学等で教育を受けて単位を修得し、又 は研究指導を受ける留学生。

Privately funded 私費留学生

All other international students 上記以外の留学生。

## Short-term Student Exchange Program 短期研修プログラムによる学生相互交流

#### Student Exchange Program (1): Between the UoM and partner universities 学生相互交流①:大学間交流協定校

UoM runs a 1-2 week course in Miyazaki for students of Vietnam National University of Agriculture in Vietnam, Nanjing Agricultural University in China, and Soochow University in Taiwan.

宮崎大学では、大学間交流協定校であるベトナムのベトナム国立農業大学、中国の南京農業大学、台湾の東呉大学との間で1~2週間程度のプロ グラムによる学生交流を実施しています。

#### Student Exchange Program (2): Between Faculties 学生相互交流②:部局間交流協定校

Faculty of Medicine at UoM conducts a 1-3 month exchange program for medical and nursing students with Prince of Songkla University in Thailand, Shanghai Jiao Tong University School of Medicine in China, National Cheng Kung University in Taiwan, and University of California, Irvine in U.S.A.

宮崎大学医学部とタイのプリンスオブソンクラ大学、中国の上海交通大学医学院、台湾の国立成功大学医学院並びにアメリカのカリフォルニア大学アーバイン校医学部との間で、医学部のスタッフや学生を対象にした1ヶ月~3ヶ月間の研修プログラムを実施しています。

#### Summer Program サマープログラム

The University of Miyazaki offers a three-week summer program for international students. The program includes four types of classes: (1) Japanese language, (2) Japanese culture, (3) Japanese seminar, and (4) laboratory research.





宮崎大学は外国人留学生を対象に 3週間のサマープログラムを提供しており、ここでは、①日本語、②日本文化、③日本語演習、④ラボ・リサーチの 4つのクラスを開講しています。

- 1. The Japanese language class is designed for beginner-level students of Japanese.
- ①日本語クラスは、ビギナー向けの日本語を学ぶクラスです。
- 2. The Japanese culture class provides students with an opportunity to gain an understanding of Japan through such first-hand experiences as visits to historical sites, participation in community festivals, tea ceremony, flower arrangement, and even a weekend homestay.
- ② 日本文化クラスは、茶道や華道などの日本の伝統的な文化体験や地域の祭りへの参加、遺跡の見学や週末のホームステイなどを通して、日本を理解するためのクラスです。
- **3.** The Japanese seminar course allows students to proactively learn about Japanese language and culture.
- ③ 日本語演習クラスは、日本語・日本文化を主体的に学ぶクラスです。
- 4. In the laboratory research class, undergraduate students wishing to advance to the postgraduate level receive small-group lectures from the university's postgraduate teaching staff and gain laboratory experience. The lab classes are conducted primarily in English. The topics are adapted to each participant's research interests. For more details on course content, please visit the university website: http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/englishpage/index.html
- ④ ラボ・リサーチクラスは、大学院を希望する学部生等を対象に、本学の研究科の教員から少人数での講義を受け、ラボラトリーの体験をするクラスです。クラスは主に英語で実施され、各研究分野の教員が希望者に応じて開講する形をとっています。(開講されるコース内容は、本学ホームページで確認して下さい。)

#### Winter Program ウィンタープログラム

The University of Miyazaki provides a two-week winter program for international students with courses on Japanese language and culture. The program includes a weekend farm-stay in the countryside and other

field trips, as well as many hands-on activities to learn more about Japanese culture.

宮崎大学は外国人留学生を対象に、2週間のウィンタープログラムを提供しており、日本語・日本文化の授業を開講しています。週末には農村民泊体験など、日本文化を理解するための体験プログラムが多く組まれています。





## Campus Life - Support for International Students キャンパスライフ〜留学生支援〜

### Scholarships

#### 奨学金

The following scholarships are provided for international students studying at UoM:

本学の留学生が受給している主な奨学金は次のとおりです。

Japanese government scholarships, Honors Scholarship for Privately Financed Students, Rotary Yoneyama Memorial Foundation Scholarship, Konan Asia International Foundation Scholarship, Heiwa Nakajima Foundation Scholarship, JGC-S Scholarship Foundation Scholarship, Kawashima Shoji Commemorative Scholarship

文部科学省奨学金、私費留学生学習奨励費、ロータリー米山記 念奨学会奨学金、興南アジア国際奨学財団奨学金、平和中島奨 学金、日揮・実吉奨学会奨学金、川嶋章司記念スカラーシップ 基金等

#### Tuition Exemption 授業料免除

An international student enrolled as a regular student at UoM who has an excellent academic record but finds it difficult to pay tuition due to unavoidable circumstances may apply for an exemption. If selected, he or she may be provided a tuition discount of 100,000 yen or 200,000 yen or a full tuition exemption for the semester in question (this system does not apply to research students or auditors).

本学に入学後、学業成績が優秀で、かつやむを得ない理由によって授業料の支払いが困難な者については、出願があれば選考のうえ、その学期の授業料のうち10万円、20万円又は全額を免除することがあります。(研究生・科目等履修生は免除の対象外です。)

#### Medical Support

医療補助

Students who have had an accident or suffer from illness can receive treatment equivalent to hospital care from doctors, counselors, and nursing staff at the Health Care and Safety Center on campus.

Students who receive medical treatment in a hospital in Japan for illness or injury will be charged 30% of the medical fee (provided the student joins the National Health Insurance).

学生のけがや病気については、学内にある安全衛生保健センターにて、医師、カウンセラー、看護師によって、病院と同様の診断・治療をうけるこ とができます。

病院で受診する場合の個人負担は医療費の30%です。(ただし、国民健康保険に加入していることが条件です。)

### Classes in Japanese Language and Culture in Japan 日本語・日本事情クラス

UoM also offers a range of courses in both semesters on Japanese language and society, as well as courses offering internship experiences. 学生のレベルや目的に応じて、各学期に日本語授業と日本事情のクラスを開講しています。また、インターンシップを体験できる授業も行っています。

#### Tutor System

#### チューター制度

Some Japanese students at UoM are selected to act as tutors and offer their support to new international students by helping them with Japanese language study and adjustment to daily life.

本学の日本人学生から選ばれたチューターが、来日した留学生に対して、日本語や日本 での生活をサポートします。



#### Student Residence and Housing Compensation System 宿舎および住宅補償制度

UoM provides accommodation for international students at the International House and Dormitories.

It is also possible for international students to live in municipal housing or private apartments close to campus, in which case they can subscribe to the Comprehensive Renters Insurance for Foreign Students Studying in Japan that aims at protecting students and reducing the burden on the guarantor.

宮崎大学では留学生に対して 寮を提供しています。

また、大学近くの県営および 市営住宅、または民間アパート への入居も可能です。この場合、 万一の災害に対する備えと保証 人の負担軽減をする必要がある ため、「留学生住宅総合補償制度 」に加入していだだきます。

		e of Roc 屋の種類	Monthly Rent 寄宿料	
International	Single R	ooms	単身用	4,700 yen
House	Couples'	Rooms	夫婦用	9,500 yen
国際交流宿舎	Family R	ooms	家族用	14,200 yen
Kibana Dormitor	У	木花ドミ	ミトリー	24,000 yen
Kiyotake Dormit	ory	清武ドミ	25,800 yen	



#### Cooperation with various International Exchange Organizations 各種国際交流団体との協力



UoM provides support and guidance to the Miyazaki University Foreign Students Association (MUFSA) in an advisory capacity. In addition, we cooperate with other international exchange organizations off campus to promote the welfare of international students in Miyazaki and contribute to international understanding in the region as a whole, offering activities such as visits to schools or Japanese families, etc.

宮崎大学では「外国人学生会 (MUFSA)」の活動をサポートしています。

また、学外の国際交流活動を行う団体と協力して、地域における留学生支援を促進するととも に、地域社会の国際理解に貢献しています。(学校訪問、ホームビジット等)

### Living Expenses

#### 生活費

The table to the right shows typical monthly living express for an international student living in university dormitory. Living in an apartment may increase monthly expenditures by 25,000 to 45,000 yen.

大学の寮で暮らす留学生の1ヶ月の生活費の例です。アパートに住むと25,000~45,000円ほど支出が高くなります。

Inc	come 収	入	Expenditures 支 出	
Allowance	仕送り	40,000 yen	Lodging (Including expenses for electricity, fuel, and water) 寄宿寮(光熱水費を含む)	24,000 yen
Part-time job	アルバイト	32,000 yen	Meals	20,000 yen
			Mobile phone 携帯電話代	7,000 yen
			Convenience goods 生活雑費	4,000 yen
			Educational materials 教材費	5,000 yen
			Entertainment 娯楽費	10,000 yen
			National Health Insurance 国民健康保険	2,000 yen
Total	計	72,000 yen	Total	72,000 yen



## Jarong Sainoon

M2, Japanese Language Support, Graduate School of Education

Miyazaki is my third place to live in Japan, where I've had a lot of good memories of my academic life. The journey began when I was an exchange student at Kyushu University for one year. Being in love with Kyushu island's culture and people, I decided to pursue my ultimate dream of earning a Master's degree in Japanese language. I was awarded a scholarship by the Japanese government's Ministry of Education (MEXT) to continue my master degree at the University of Miyazaki in April 2015. Before moving to UoM, I had an opportunity to be a research student for a six-month Japanese language course at Kagoshima University.

Every place has its own story. Japanese language and culture are my motivation and story worth sharing with everyone. UoM provides professional Japanese language courses to improve and enhance your language skills. In Miyazaki Prefecture, foreign students have many opportunities to practice the Japanese language with locals. They are very warm-hearted and welcoming to foreigners. Furthermore, Miyazaki has distinctive beautiful scenery and an environment suitable for living and studying.

For this reason, I strongly recommend that students who are looking for an unforgettable and professional academic atmosphere in Japanese language to enroll at the University of Miyazaki.



## Mai Thi Ngan

D2, Training Course for Researchers of Medical and Veterinary Science, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

I am very happy to be here as a PhD student in the Faculty of Medicine and Veterinary Medicine at the University of Miyazaki. UoM is located in Miyazaki which is famous in Japan as a peaceful, beautiful and warm place. I still remember my first day here. I felt strange but very eager and hopeful that my country could develop in the future like Japan, a symbol of miraculous development even though it has often been affected by natural disasters. Amazingly, Miyazaki has been becoming familiar to me, bringing me warm thoughts every day. With support from my supervisor, tutor, Japanese friends, and the university's Global Support Office, I am really enjoying my life at UoM. Sometimes I attend field trips and events to discover many beautiful places and cultures in Miyazaki, such as the Takachiho gorge, festival for making rice cakes, and towers of Japanese radishes. Miyazaki will be my second home, full of of unforgettable memories.

This reminds me suddenly of the stanza in a Vietnamese poem:

"When we live just is where we live But when we leave, it becomes the soul"

From my perspective, UoM is a good choice and a good place for living and studying. My little angel, who is in primary school back in Vietnam, told me that her dream is to "come to Japan to study as soon as possible". She has that dream after visiting me in Miyazaki for just one week and through my words about Japan.



### Imani Mhembano Matula

M2, International Course of Agriculture, Graduate School of Agriculture

Studying abroad was one of my dreams, especially after completing my first degree back in Tanzania. I had been applying to different scholarships but the dream didn't become a reality until I was accepted for a JICA scholarship under ABE (African Business Education) Initiative. Coming to Japan was quite an exciting trip, since I had known Japan only through watching Japanese movies, but now it was becoming a place where I was going to spend a couple of years for my studies. It was an honor to be accepted to pursue my Master's degree in the Laboratory of Agricultural Economics and Farm Management at the University of Miyazaki. I have had an opportunity to learn about Japanese culture, including punctuality, kindness and politeness, and hard work, just to mention a few aspects. Despite the language barrier with the majority of Japanese friends, my school life and general life at UoM have always been great since the courses for international students are taught in English. My supervisor has been supportive of my studies and general life, and the university staff too have been supportive to create a friendly academic environment for international students. I have had a great time interacting with other people outside the university and learning more about Japanese culture. Just as the university slogan states, "Look at the world, start with the community," after returning to Tanzania I look forward to sharing the experience I have acquired from my studies at UoM and Japan as a whole to make a positive impact to my community.



### Azeri Gautama Arifin

D1, Department of Environment and Resource Sciences, Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

Studying at university can sometimes be challenging for us. We have to balance academics and social life. Happiness often tends to fall by the wayside when it is necessary to pursue higher academic achievement. Luckily I am studying at the University of Miyazaki (UoM), which offers me a comfortable location and advanced facilities with great student support from the university staff to make my academic life more enjoyable. I also have easy access to enjoy and harmonize with nature because UoM is located in a quiet rural area surrounded by mountains and beaches. Moreover, as a muslim student, I have not faced any difficulties here about food and other related religious issues. Apart from creating an enjoyable student life, UoM also has provided me the opportunity to improve my knowledge in my area of research (genetic transformation of soybeans). I have been impressed by the advanced research facilities and competent professors that help me carry out my research smoothly.



### Du Yifei

D3, Department of Materials and Informatics, Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

I am a PhD student in the University of Miyazaki's Graduate School of Agriculture & Engineering. This is my ninth year for me to study here, during which I obtained a BA and MA degree. And in a few weeks I will receive my PhD diploma.

As you can probably imagine, UoM means a lot to me. Looking back, it is full of fruitful times that I appreciated. I can still recall the very first day when I joined UoM, excited but also worried about everything. I greatly appreciated that professors, colleagues and staff were all extremely helpful and supportive, which also influenced positively on my private life and academic work. To all of my professors, your professionalism and passion for academic research have and will continue to motivate my personal development. I consider this as a lifelong treasure that I will always bear in mind. In terms of my colleagues, we came from diverse cultures though somehow everything coexisted perfectly as we are all members of the UoM family. I believe our friendship will continue to grow us even though we will graduate soon. I'd also like to express my gratitude to the staff of our faculty for always being so thoughtful and professional. Miyazaki can be counted as my second hometown. This is a land full of generous locals and fine scenery, where mountains and seaside contributed to the attractive landscape and nature. All of this will be somewhere in my memory that I will never let go of. It will also inspire me to meet all the challenges that may come up in the future. I highly recommend you to study here and experience it all for yourself. It's well worth a try.



### Nurul Izzati bt Uda Zahli

D1, Training Course for Researchers of Medical and Veterinary Science, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

Currently approaching my second year of PhD research in the Laboratory of Veterinary Pathology, I have spent an amazing three and a half years at the University of Miyazaki, initially as a research student and then enrolled in the Master's course of the Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine. Thanks to MEXT, which granted me scholarship, I am given ample opportunity to polish my skills in Veterinary Pathology as well as to work towards realizing my ambition of becoming a trained researcher, as the Interdisciplinary Graduate School offers enormous opportunity for students to wisely integrate facilities and expertise offered by both veterinary and medical faculties.

Aside from academic life, I have also had a great chance to learn about various cultures through my interaction with international and Japanese students; but that's not all – the locals here are warm too. My daily commute to the lab is frequently greeted by a caring neighbor, whom from time to time made my day by sharing fruits and vegetables from his farm; and my visit to the university's library is regularly greeted by a friendly retired lecturer who is always eager to chat in English with me. For prospective Muslim students, have no worries; finding halal food items is getting more convenient as quite a number of stores are selling them, and the Islamic Centre at the university supports the Muslim community. For everyone looking for a great environment to study and live, the University of Miyazaki has a lot to offer to you.

.....



#### Soe Htet Hein

M1, Mechanical Systems and Informatics Course, Graduate School of Engineering

I have gained so much valuable knowledge and experiences by studying abroad under the Double Degree Program (DDP) Master's course of the Faculty of Engineering at the University of Miyazaki (UoM), Japan. I would like to recognize Professor Thi Thi Zin and my supervisor Associate Professor Lee Geunho, who have supported me for everything to survive in Miyazaki. I also would like to express my heartfelt thanks to the Japanese government for the JASSO Scholarship that furnished me financial support for my accommodations and the modern facilities for my research.

Miyazaki is well known in Japan for its peacefulness, huge natural forests, beautiful landscape and nice weather. All the professors, staff, students, and lab members at UOM are compassionate, zealous, tender and self-sacrificing. Not only Japanese students but also Japanese citizens are good-natured, kind and always willing to help. All the teachers give their lectures altruistically and have tolerance especially for the international students. Activities at UoM build strong relationships between Japanese and international students. The five faculties are providing special facilities and integrated help to fulfill and reinforce multilateral research. I am also really pleased for having got a chance to learn Japanese language with full attention. Because of the natural beauty of UoM surrounded by green mountains, its safe and peaceful environment, its high standards of teaching methods and curricula, its supplements for student affairs and services, anyone who would like to study abroad would find UoM attractive

Moreover, UoM cooperates with many universities from different countries not only in technology but other research fields through various programs. UoM is improving year by year and I believe that it will be one of the bright universities in Asia in the near future. I am incomparably proud to be studying advanced technologies under the progressive methods of UoM. In summary, my main is that I would like to recommend to anyone interested in studying abroad that they should not miss the opportunity to enter UoM to realize a better future life.

## Number of Staff

(As of May 1, 2017)

President	Auditors	Executive Directors	Professors	Associate Professors	Senior Assistant Professors	Assistant Professors	Research Associates	School Teachers	Administrative Staff	Total
1	2	6	194	184	79	256	4	66	1,372	2,164

### Number of Students

Undergraduate (As of May 1, 2017)

Faculties	Enrollme	Current Enrollment	
raculties	New Students	Total	Current Enrollment
Education & Culture			502
Education	120	480	251
Medicine	170	900	940
Engineering	370	1,480	1,613
Agriculture	285	1,200	1,208
Regional Innovation	90	360	194
Total	1,035	4,420	4,708

Graduate (As of May 1, 2017)

		Enrollme	ent Limit		Current Enrollment						
Graduate Schools	Master's	Course	Doctora	l Course	Master's	Doctoral	Tatal				
	New Students	Total	New Students	Total	Course	Course	Total				
Education	8	16			20		20				
Medicine and Nursing Science*	10	20			31	11	42				
Engineering	134	268			308		308				
Agriculture	68	136			147		147				
Medicine and Veterinary Medicine**	8	16	23	92	25	162	187				
Agriculture and Engineering***			16	48		76	76				
Veterinary Sciences****						1	1				
Total	228	456	39	140	531	250	781				

<sup>\*</sup>Graduate school of Medicine, Medical Science and Nursing Science, Nursing science

## Number of Graduate Students

### Undergraduate Students (As of March 31, 2017)

Faculties	Total
Education (Education & Culture)	15,778
Medicine	4,527
Engineering	14,338
Agriculture	15,030
Regional Innovation	0
Total	49,673

#### **Graduate Students**

(As of March 31, 2017)

Graduate Schools	Master's Course	Doctoral Course	Total
Education	556		556
Medicine and Nursing Science*	206	424	630
Engineering	3,176	95	3,271
Agriculture	2,131		2,131
Medicine and Veterinary Medicine**	25	48	73
Agriculture and Engineering***		104	104
Total	6,094	671	6,765

<sup>\*</sup>Graduate school of Medicine, Medical Science and Nursing Science, Nursing science

<sup>\*\*</sup>Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

<sup>\*\*\*</sup>Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

<sup>\*\*\*\*\*</sup>United Graduate School of Veterinary Sciences, Yamaguchi University (UOM withdrew from United Graduate School of Veterinary Sciences, Yamaguchi University in 2010)

<sup>\*\*</sup>Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

<sup>\*\*\*</sup>Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

## UoM Exchange Students at Partner Universities (2016)

Institution	Country / Region	Sent in 2016
Pukyong National University	Korea	8
Nanjing Agricultural University	China	31
Shanghai Jiao Tong University	China	2
Soochow University	Taiwan	4
Da Yeh University	Taiwan	5
Kainan University	Taiwan	5
National Cheng Kung University	Taiwan	4
Kasetsart University	Thailand	10
Prince of Songkla University	Thailand	29
Vietnam National University of Agriculture	Vietnam	15
Infrastructure University Kuala Lumpur	Malaysia	7
University of Computer Studies, Yangon University of Computer Studies, Mandalay Mandalay Technological University Yangon Technological University University of Technology, Yatanarpon Cyber City	Myanmar	11
University of Technology, Yatanarpon Cyber City	Myanmar	1
University of California, Irvine	U.S.A.	6
Evergreen State College	U.S.A.	2
Indiana University of Pennsylvania	U.S.A.	1
University of Cagliari	Italy	3
Total		144









(As of October 1, 2017)

Financial Sources

## Number of International Students

Country /

Guinea

Zambia

Sudan

Rwanda Total (35)

Madagascar

37 70 69 29 27 2 52 45

Medicir Engine Agricult

Region	graduate	r's Course	ral Course		tion	ine	ering	lture	nal Ition	ine & ary Medicine	Iture & ering	nment		n nment		graduate	r's Course	ral Course		tion	ine	ering	lture	nal Ition	ine & ary Medicine	Iture & ering	nment		n nment	
China	10	19	9	5	5		17	6		13	2	1	42		43	10	17	9	7	4		18	6	1	12	2		43		43
Indonesia	2	13	16	1	1		7	7		8	9	9	23		32	2	5	21	3	1		3	5		11	11	13	18		31
Thailand	15	1	7	1	2			15		5	2	6	18		24	15	1	10	1	1			15		8	3	9	18		27
Afghanistan		12	8				4	8		6	2		20		20		10	8	2			2	10		6	2		20		20
Myanmar		7	8				6	1		6	2	6	9		15		18	10	1			17	2		7	3	9	20		29
Korea	2			10	9	2	1						12		12	2			8	7	2	1						10		10
Malaysia	7		3				7			3		3	2	5	10	7		3				7			3		3	2	5	10
Taiwan		1		8	8				1				9		9		1	1	9	9				1		1		11		11
Vietnam		3	5					3		3	2	3	5		8		3	6	1				3		4	3	5	5		10
Bangladesh			5							4	1	3	2		5			5							4	1	3	2		5
Mongolia		3		1			2	1		1			4		4		2	1	2			2	2			1		5		5
India			2	1			1			2		1	2		3			2							2		1	1		2
Tanzania		2					1	1					2		2		1						1					1		1
Nepal	1		1				1			1		1	1		2	1		1				1			1		1	1		2
U.S.A.															0				2	2								2		2
Turkey															0				2	2							1	1		2
Senegal		2					2						2		2															0
South Africa		2					1	1					2		2		1						1					1		1
Tonga		1	1					1			1	1	1		2		1	1	1				2			1	1	2		3
Sri Lanka		1	1							2		1	1		2		1	1							2		1	1		2
Malawi				1	1							1			1				1	1							1			1
Philippines			1								1	1			1			1								1	1			1
Syria			1								1		1		1															0
Slovenia				1	1								1		1															0
Croatia															0				1	1								1		1
Switzerland															0				1	1							1			1
Morocco		1					1						1		1		1					1						1		1
Brazil															0				1	1							1			1
Mexico															0				1				1				1			1
Egypt		1						1					1		1		1	1					1		1			2		2
0 :			- 4								- 1		- 4		- 4			- 4								- 4		- 4		4

1

1 54 24 37 163

1

1

0

0

0

1

1

1

2 54 50

1

5 205 37 65 82 45 30

(As of May 1, 2017)

Total

Financial Sources

2 61 30 52 172

1

1

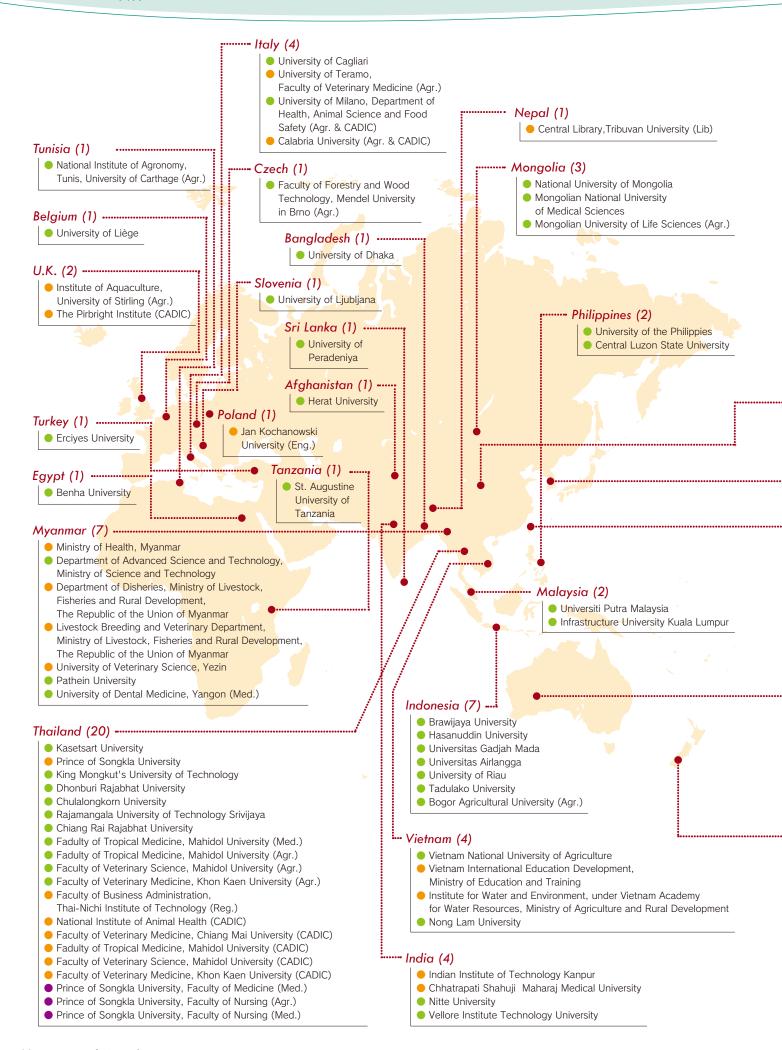
1

1

1

1 0

5 229



### Academic Exchange Agreement

The University of Miyazaki (UoM) has concluded an Academic Exchange Agreement with 98 institutions, in 32 countries and regions, as indicated below.

#### The Academic Exchange Agreement encourages the following activities:

- 1. Exchange of researchers and other research staff
- 2. Conducting collaborative research projects and organizing symposia
- 3. Exchange of research data and materials
- 4. Exchange of students

### Student Exchange Memorandum

UoM has concluded a Student Exchange Memorandum with 72 institutions, in 24 countries and regions, as indicated below.

Generally speaking, the Student Exchange Memorandum includes the following content:

- 1. Duration of stay
- 2. Number of exchange students
- 3. Exemption from the payment of the entrance examination fee, admission fee, and tuition of the host university

#### China (10) Nanjing Agricultural University Canadian Food Inspection Agency (CADIC) Shanghai Jiao Tong University The Governors of the University of Alberta (CADIC) Qinghai University Northwest A&F University ..... U.S.A. (7) Changsha University of Science & Technology Kunming Medical University Kansas State University Wenzhou Medical University Evergreen State College Yanbian University (Med.) Indiana University-Purdue University Fort Wayne Colleges of Engineering, The University of Toledo, College of Pharmacy and Chongqing University of Technology (Eng.) Pharmaceutical Sciences Wenzhou Medical University (Med.) Indiana University of Pennsylvania University of California, Irvine School of Medicine, University of California, Irvine (Med.) Korea, R. (11) Sunchon National University Yeungnam University Chonbuk National University .. Brazil (2) Kyungpook National University Luiz De Queiroz College of Agriculture, Pai Chai University University of Sao Paulo Busan University of Foreign Studies Instituto Biológico of Sao Paulo/Paurista Agency of Andong National University Agribusiness-Apta/Government of Sao Paulo (CADIC) Chungbuk National University Hospital (Med.) College of Fisheries Sciences, Pukyong National University (Agr.) Aquaculture Research Department, National Institute of Fisheries Science (Agr.) Seoul National University (CADIC) ··<del>··</del> Taiwan (8) Kainan University Soochow University Da Yeh University National Pingtung University of Science and Technology National Chengchi University Uruguay (1) National Chiayi University National Pingtung University University of the Republic National Cheng Kung University (Med.) Australia (1) University of Melbourne. Faculty of Science and Melbourne School of Engineering (Eng.) ⊶ Peru (2) New Zealand (1) Faculty of Medicine, Universidad Peruana Cayetano Heredia (Med.) Ara Institute of Canterbury The Institute of Tropical Medicine "Alexander von Humboldt" of the Universidad Peruana Cayetano Heredia (Med.)

#### **Abbreviation**

- Academic Exchange Agreement
- Student Exchange Memorandum
- Academic Exchange Agreement & Student Exchange Memorandum

Agr. (Faculty of Agriculture)

Eng. (Faculty of Engineering)

Med. (Faculty of Medicine)

Reg. (Faculty of Regional Innovation)
CADIC (Center for Animal Disease Control)

Lib. (University of Miyazaki Library)

## Exchange of Researchers

(April 1, 2016-March 31, 2017)

=xenange			_			(April 1, 2016-Ma																				
	Eddcation		וא מכוכו מכוכו מ	Modification		Agriculture		Innovation	Regional		Center for International Relations		Center for	Center	Language		ਸ	Center for Education and Student Support		Center for Collaborative Research & Community Cooperation		Frontier Science Research Center		Total		
	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent	Received	Sent
India			11	3		2		2			1	1													12	8
Indonesia			1	2	1	6		9		1	7											1			9	19
Korea		3	2	20	2	2	4	17			1				1	8		1							10	51
Cambodia		0		2				4								U									0	6
Singapore				6		5		2			1		1												2	13
Sri Lanka				U		1		2			'		1												0	3
Thailand			9	0				30		1	1		1.6	2											31	45
		1	9	9		2	5			1	1	0	16	3		10		1								
Taiwan		1	4	12	4.4	1.1	4	6		7	3	2	1.0			12		1			4				3	41
China		4	4	5	11	11	4	7					10			1					1				30	28
Bangladesh			4									4				_									4	4
Philippines							1									2	1								2	2
Vietnam				3			4	7		2		4										1			4	17
Malaysia				2	1	1		2	1																2	5
Myanmar			12	19	15	12	2	2			2	6												3	31	42
Mongolia			18		3	2				1															21	3
Pakistan						1																			0	1
Turkey			1			1																			1	1
Russia		1																							0	1
Egypt			1				6	1							1										8	1
Mauritania						2	1	·																	1	2
Senegal							1																		1	0
								1																	0	1
Kenya						0		- 1																		
Tunisia						2		4																	0	2
Tanzania						1		1																	0	2
Uganda				1																					0	1
UAE						1																			0	1
Australia		3		4		2		1									1	1							1	11
New Zealand		1																							0	1
Tonga															1										1	0
U.S.A	2	2	1	62		12		11		1	1		1	1	1	1		5		2		2		2	6	101
Canada			1	2				2					1							1					2	5
Guatemala		1																							0	1
Peru			2	2				1																	2	3
Argentina				1																					0	1
Brazil				1																					0	1
Ireland				1				1								1		1							0	4
U.K.		3	1	12		3		2		1								1							1	22
Italy				8		2							2			1									2	11
Austria				2												'									0	2
Netherlands				۷				1										1							0	2
						1	0											- 1								
Czech							2	2																	2	3
Switzerland						2																			0	2
Sweden				1				2								1									0	4
Spain				4		1		2																	0	7
Slovakia		1																							0	1
Denmark		1						1																	0	2
Germany		3		4		5												1						1	0	14
Hungary						2																			0	2
Finland		1																							0	1
France				2		5							1			1									1	8
Bulgaria			1																						1	0
Belgium								1								1									0	2
Norway								- '								'		1							0	1
Bosnia-Herzegovina	1			1														1							0	
																									U	1
				1														4								
Portugal				1														1							0	2
Portugal Poland		1					1											1							0	2
Portugal	2	1 1 27		1	34	87		120	1	14	17	17	32	4	4	29	2	1	0	3	1	4	0	6	0	

### Researchers above include those:

- 1. Funded by foreign government/institutes
- 2. Funded by MEXT (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology), JSPS (Japan Society for the Promotion of Science), Japan Foundation, JASSO, (Japan Students Services Organization), JICA (Japan International Cooperation Agency) and other Japanese governmental agencies.
- ${\bf 3.}$  Based on the Academic Exchange Agreement with foreign institutes.
- 4. Self-supporting, etc.

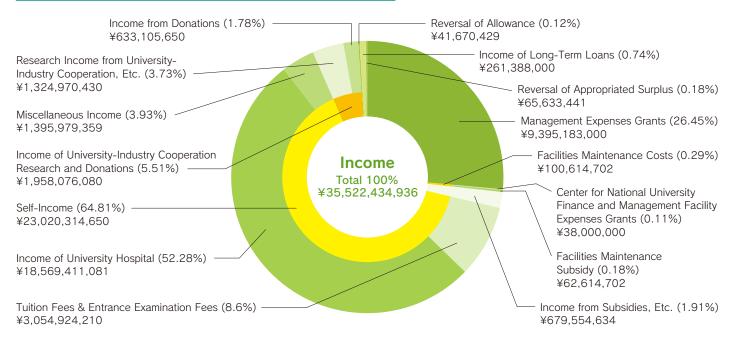
## University Income / Expenditures (2017)

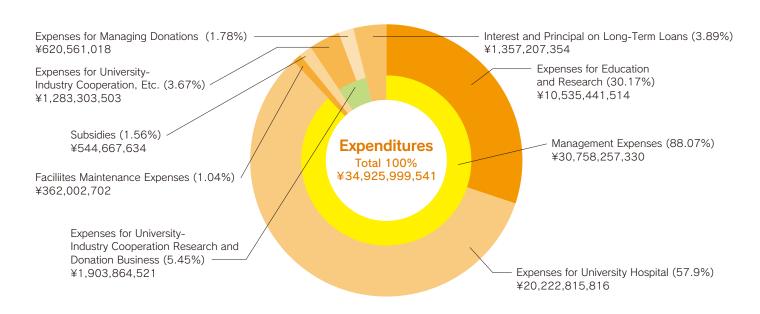
	Income	(yen)
Management Expenses Grants		9,395,183,000
Facilities Maintenance Costs	Center for National University Finance and Management Facility Expenses Grants	38,000,000
	Facilities Maintance Subsidy	62,614,702
	Grant from Ministry of Health, Labour and Welfare	0
Income from Subsidies,	Income from Subsidies, Etc.	
	Tuition Fees & Entrance Examination Fees	3,054,924,210
Self-Income	Income of University Hospital	18,569,411,081
	Income of Property Disposal	0
	Miscellaneous Income	1,395,979,359
Income of University- Industry Cooperation Resarch and Donations	Research Income from University- Industry Cooperation, Etc.	1,324,970,430
	Income from Donations	633,105,650
Reversal of Allowance		41,670,429
Income of Long-Term Loans		261,388,000
Reversal of Appropriated Surplus		65,633,441
Total		35,522,434,936

	Expenditures	(yen)
Management Expenses	Expenses for Education and Research	10,535,441,514
Management Expenses	Expenses for University Hospital	20,222,815,816
Faciliites Maintenance Exp	362,002,702	
Subsidies	544,667,634	
Expenses for University- Industry Cooperation	Expenses for University- Industry Cooperation, Etc.	1,283,303,503
Research and Donation Business	Expenses for Managing Donations	620,561,018
Interest and Principal on L	1,357,207,354	
Total	34,925,999,541	

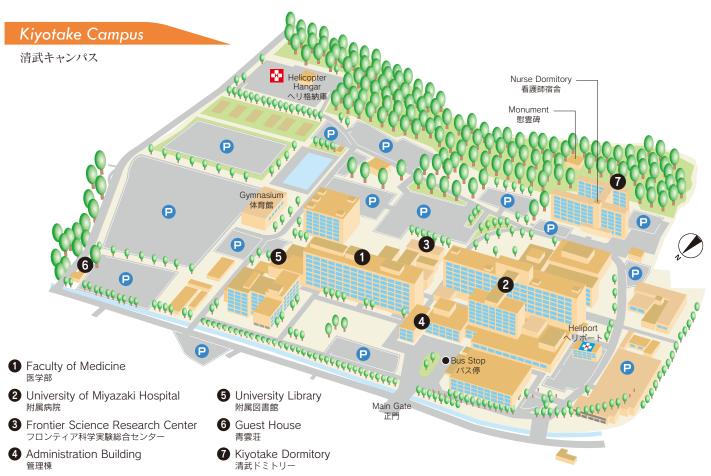
## **University Budget**

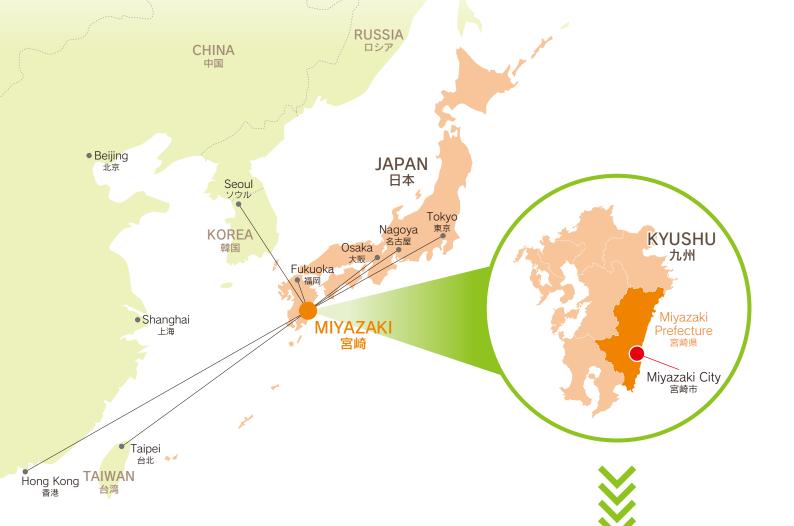
(FY2017)(US\$=¥100)











### Getting to Miyazaki アクセス

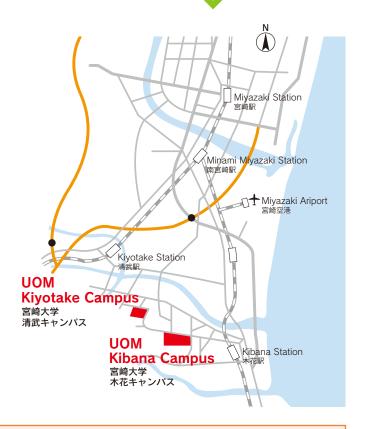
People traveling to Miyazaki from overseas often travel via Tokyo, Osaka, Nagoya, or Fukuoka, but there are direct flights to Miyazaki from South Korea, Taiwan, and Hong Kong.

Miyazaki Airport is about 15 minutes by car from either campus.

海外から宮崎へ来るには、まず東京、大阪、名古屋、福岡のいずれかに飛ぶことになります。仁川 (インチョン) (韓国)、桃園 (タオユァン) (台湾)、香港 (ホンコン) から宮崎へは直行便があります。

宮崎空港から両キャンパスへは車で約15分です。

Tokyo 東京(羽田)	100 mins 100分	*		
Nagoya 名古屋(中部)	80 mins 80分			
Osaka 大阪(伊丹)	70 mins 70分			
Fukuoka 福岡	40 mins 40分		Miyazaki 宮崎	
Seoul ソウル	100 mins 100分			
Taipei 台北	130 mins 130分			
Hong Kong 香港	230 mins 230分			



#### University of Miyazaki 宮崎大学

Address 1-1 Gakuen Kibanadai-nishi, Miyazaki 889-2192 JAPAN URL http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/englishpage/index.html 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

#### Center for International Relations 国際連携センター

Tel +81-985-58-7104 Fax +81-985-58-7782 E-mail kokusai@of.miyazaki-u.ac.jp

facebook https://www.facebook.com/Miyazaki.U.CIR/

Published by the Center for International Relations, March 2018

